

2021 SYLLABUS

教職課程

北海道情報大学

【 目次 】

教職概論	3
教育原理	6
教育心理学	9
教育制度論	12
教育社会学　－休講－	17
教育課程論	19
商業科教育法Ⅰ	22
商業科教育法Ⅱ	24
数学科教育法Ⅰ	26
数学科教育法Ⅱ	28
数学科教育法Ⅲ	31
数学科教育法Ⅳ	34
情報科教育法Ⅰ	37
情報科教育法Ⅱ	40
道徳教育の理論と実践	43
特別活動論	46
生徒指導	49
進路指導	52
学校教育相談	55
教育実習Ⅰ	58
教育実習Ⅱ	61
教育実習Ⅲ	64
教職実践演習（中・高）	67
特別支援教育論	70
教育方法論と総合的な学習の時間の指導法	74

教職概論 Outline of the Educational Profession

担当教員	渡邊 仁(859 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義	○	CTP170
開講学科		種別		配当年次	開講時期
システム情報学科		選択		1・2 年	後期
先端経営学科		選択		1・2 年	後期
情報メディア学科		選択		1・2 年	後期
情報メディア学科メディアデザイン専攻		選択		1・2 年	後期
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		選択		1・2 年	後期
授業概要					
(1)教師の仕事内容 (2)教師としての進路選択 (3)教師の役割 近年、教育に関わる問題や方針が大きく変化している。また、それぞれの人が自身で受けてきた教育が全ての教育ではない。そのため、教師の仕事内容の理解と具体的な事例を通して、多角的に自身の教師像を捉え、教師の役割を考える機会とする。さらに、教師として必要なものは何かを学ぶことで、教師としての職に対する自分の意欲や適正を考えるきっかけを作る。					
授業における学修の到達目標					
教師の役割や教師の仕事内容の理解を深めることで、教師像を多角的な視点で捉え、自分の理想の教師像を説明できる。また、同時に教師としての職に対する自分の意欲や適性を考えられる。					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	良い教師とはどういう教師かを考えておいて下さい。			2.0
	授業	良い教師とは（教師像） グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	理想の教師像を考えておいて下さい。			2.0
2	事前学習	自分の中高時代に直面した問題は何かを考えておいて下さい。			2.0
	授業	生徒に関わる問題（不登校・高校中退・いじめ・学級崩壊等） グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	自分が経験していない問題や深く知らなかった問題について、教科書等を使いさらに理解を深めておいて下さい。			2.0
3	事前学習	楽しかった（わかりやすかった）授業・楽しなかった（わかりにくかった）授業はどういう授業だったのかを考えておいて下さい。			2.0
	授業	授業を行う教師（学習指導） グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	自分が教師になったら、どういった授業を行いたいかを考えておいてください。			2.0
4	事前学習	印象に残っているクラスの担任教師はどういう教師だったのかを考えておいて下さい。			2.0
	授業	クラスをつくる教師（学級経営） グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	自分が教師になったら、どういったクラスを作りたいかを考えておいて下さい。			2.0
5	事前学習	服装指導や頭髪指導をしている教師はどういう教師だったのかを考えておいて下さい。			2.0
	授業	問題行動を指導する教師・生徒の成長を促す教師（生徒指導） グループディスカッション・演習課題			

	事後学習	自分が教師になったら、問題行動をする生徒に対して何に気を付けて指導をするのかを考えておいて下さい。	2.0
6	事前学習	信頼できる教師・信頼できない教師はどういう教師だったのかを考えておいて下さい。	2.0
	授業	生徒の相談にのる教師（教育相談） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	生徒から信頼されるためには、どういうことが必要かを考えておいて下さい。	2.0
7	事前学習	自分の将来に影響を与えた教師はどういう教師だったのかを考えておいて下さい。	2.0
	授業	生徒の進学・就職をサポートする教師（進路指導） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	自分が教師なら、どういう点に気を付けて生徒の進学・就職をサポートするのかを考えておいて下さい。	2.0
8	事前学習	第1回から第7回の講義を受講し、教師に必要なものは何かを考えておいて下さい。	2.0
	授業	教師に必要なものは何か（教師の資質能力） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	理想の教師になるために、自分に足りないものは何かを考えておいて下さい。	2.0
9	事前学習	印象に残っている総合的な学習の時間において、教師はどういう業務をしていたのかを考えておいて下さい。	2.0
	授業	総合的な探求の時間をつくるチーム学校（総合的な探求の時間） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	総合的な探求の時間の目的、教師の役割は何かを考えておいて下さい。	2.0
10	事前学習	印象に残っている学校行事において、教師はどういう業務をしていたのかを考えておいて下さい。	2.0
	授業	学校行事をつくるチーム学校と部活動顧問（特別活動） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	学校行事や部活動の目的、教師の役割は何かを考えておいて下さい。	2.0
11	事前学習	発達障がいにはどのようなタイプがあるのかを調べておいて下さい。	2.0
	授業	障がいがある生徒に対応するチーム学校（特別支援教育） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	生徒に対して、特別な配慮・合理的な配慮を行う目的、教師の役割は何かを考えておいて下さい。	2.0
12	事前学習	生徒と直接関わらない教師の仕事は何があるのかを考えておいて下さい。	2.0
	授業	生徒と直接関わらない教師の仕事（チーム学校運営と保護者の対応） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	生徒と直接かかわらない教師の仕事において、自分が得意とする仕事と苦手な仕事は何かを考えておいて下さい。	2.0
13	事前学習	北海道の中学校と高校の教員採用試験の試験内容を調べておいて下さい。	2.0
	授業	教師になるためには（教員採用試験） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	教員採用試験において、得意とする試験内容と苦手とする試験内容は何かを考えておいて下さい。	2.0
14	事前学習	公立学校教員の地位・身分、北海道の中学校・高校教師の待遇を調べておいて下さい。	2.0
	授業	教師として働く（教師の地位・身分・待遇・研修） グループディスカッション・演習課題	

	事後学習	教師として、どのような人生を歩んでいきたいのかを考えておいて下さい。	2.0
15	事前学習	第1回から第14回の講義を受講した上で、理想の教師像を考えておいて下さい。	2.0
	授業	理想の教師像 グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	理想の教師像になるために必要なこと、教職に対する意欲や適性を考えておいて下さい。	2.0
成績評価の方法およびその基準			
次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 □試験：％ □小テスト：％ ■レポート：60％ ■演習課題：40％ □その他 □			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法			
演習課題や授業の感想については、次回講義冒頭でその内容についてコメントする。また、レポートは個々にコメントを書いて返却する。			
教科書	書名：教職入門―教師への道、著者名：藤本典裕他、出版社：図書文化、備考：		
参考書・Web サイト	書名:教職論、著者名:吉田武男他、出版社:ミネルヴァ書房、ISBN978-4-623-08588-0		
単位修得が望ましい科目	特になし		
備考	授業計画で教科書に記載されていない内容は、資料を配布して講義を行う。		
担当教員の実務経験	2004年から17年間、北海道の公立高校教員の経験がある。また、定時制高校での勤務経験があり、様々な生徒との関わりから多くの経験をしてきた。さらに、教員時代には大学院にも通い、研究で得た知見を教育現場にフィードバックをしながら、日々生徒と向き合っていた。講義ではこれらの経験を生かし、事例検討を交えながら、教育現場の様子がわかるような講義に努めている。		

教育原理 Principles of Education

担当教員	渡邊 仁(859 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義	○	CTP171
開講学科		種別		配当年次	開講時期
システム情報学科		必修		1・2 年	冬期集中
先端経営学科		必修		1・2 年	冬期集中
情報メディア学科		必修		1・2 年	冬期集中
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修		1・2 年	冬期集中
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修		1・2 年	冬期集中
授業概要					
(1)教育の基本的概念 (2)教育の歴史・思想 (3)生徒・教師・家庭・学校の相互関係 近年、教育に関わる問題や方針が大きく変化している。また、それぞれの人が自身で受けてきた教育が全ての教育ではない。そのため、教育の基本的概念・歴史・思想の理解を通して、多角的な視点で教育を捉え、教育の理念を考える機会とする。さらに、生徒・教師・家庭・学校の相互関係を考えるきっかけを作る。					
授業における学修の到達目標					
教育の基本的概念・歴史・思想について理解を深めることで、教育を多角的な視点で捉え、教育の理念を説明できる。また、同時に生徒・教師・家庭・学校の相互関係を理解する。					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	○○教育をできる限り多く考えておいて下さい。 例) 道徳教育、家庭教育等			2.0
	授業	良い教育とは(教育観) グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	自分なりの良い教育とは何かを考えておいて下さい。			2.0
2	事前学習	教育の意味・意義を調べておいて下さい。			2.0
	授業	教育とは何か グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	教育の目的を考えておいて下さい。			2.0
3	事前学習	家庭の教育問題を調べておいて下さい。			2.0
	授業	家庭の教育問題 グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	家庭の教育問題を解決する方法を考えておいて下さい。			2.0
4	事前学習	学校の教育問題を調べておいて下さい。			2.0
	授業	学校の教育問題 グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	学校の教育問題を解決する方法を考えておいて下さい。			2.0
5	事前学習	社会の教育問題を調べておいて下さい。			2.0
	授業	社会の教育問題 グループディスカッション・演習課題			
	事後学習	社会の教育問題を解決する方法を考えておいて下さい。			2.0
6	事前学習	中学校での教育目標・教育の目的は何かを考えておいて下さい。			2.0

	授業	中学校における教育 グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	中学校における教育の課題は何かを考えておいて下さい。	2.0
7	事前学習	進学校での教育目標・教育の目的は何かを考えておいて下さい。	2.0
	授業	進学校における教育 グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	進学校における教育の課題は何かを考えておいて下さい。	2.0
8	事前学習	進路多様校・非進学校での教育目標・教育の目的は何かを考えておいて下さい。	2.0
	授業	進路多様校・非進学校における教育 グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	進路多様校・非進学校における教育の課題は何かを考えておいて下さい。	2.0
9	事前学習	定時制高校・通信制高校での教育目標・教育の目的は何かを考えておいて下さい。	2.0
	授業	定時制高校・通信制高校における教育 グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	定時制高校・通信制高校における教育の課題は何かを考えておいて下さい。	2.0
10	事前学習	教育と格差社会の関係性を調べておいて下さい。	2.0
	授業	教育と格差社会 グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	格差社会を解決する方法を考えておいて下さい。	2.0
11	事前学習	詰め込み教育とはどういう教育なのかを調べておいて下さい。	2.0
	授業	教育の歴史・思想（詰め込み教育） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	詰め込み教育の問題点と利点を考えておいて下さい。	2.0
12	事前学習	ゆとり教育とはどういう教育なのかを調べておいて下さい。	2.0
	授業	生きる力（ゆとり教育） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	ゆとり教育の問題点と利点を考えておいて下さい。	2.0
13	事前学習	脱ゆとり教育とはどういう教育なのかを調べておいて下さい。	2.0
	授業	主体的・対話的で深い学び（現行学習指導要領） グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	脱ゆとり教育の問題点と利点を考えておいて下さい。	2.0
14	事前学習	子どもの多様性とは何かを調べておいて下さい。	2.0
	授業	多様性を生かす教育 グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	子どもの多様性を生かす教育に必要なことは何かを考えておいて下さい。	2.0
15	事前学習	第1回から第14回の講義を受講した上で、理想の教育を考えておいて下さい。	2.0
	授業	理想の教育 グループディスカッション・演習課題	
	事後学習	理想の教育を実践するために必要なこと、教職に対する意欲や適性を考えておいて下さい。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

□試験：％ □小テスト：％ ■レポート：60％ ■演習課題：40％ □その他 □

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	
演習課題や授業の感想については、次回講義冒頭でその内容についてコメントする。また、レポートは個々にコメントを書いて返却する。	
教科書	書名：新・教職のための教育原理, 著者名：内海崎貴子他, 出版社：八千代出版, 備考：
参考書・Web サイト	書名:もう一度考えたい「ゆとり教育」の意義, 著者名:辻村哲夫他, 出版社:悠光堂, ISBN978-4-909348-31-9
単位修得が望ましい科目	特になし
備考	授業計画で教科書に記載されていない内容は、資料を配布して講義を行う。
担当教員の実務経験	2004年から17年間、北海道の公立高校教員の経験がある。また、定時制高校での勤務経験があり、様々な生徒との関わりから多くの経験をしてきた。さらに、教員時代には大学院にも通い、研究で得た知見を教育現場にフィードバックをしながら、日々生徒と向き合っていた。講義ではこれらの経験を生かし、事例検討を交えながら、教育現場の様子がわかるような講義に努めている。

教育心理学 Educational Psychology

担当教員	五浦 哲也 (858 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP172
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3 年	後期	
先端経営学科		必修	2・3 年	後期	
情報メディア学科		必修	2・3 年	後期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3 年	後期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3 年	後期	
授業概要					
教育心理学に関する歴史的な変遷、児童・生徒の心身の発達過程やパーソナリティに関する学修を踏まえた児童・生徒を理解。さらに、学習理論や学習方法、教育評価を主体的に学修することで、教育現場に教育心理学的な観点を取り入れることができる能力を身に付ける。					
授業における学修の到達目標					
教育心理学的側面から幼児・児童・生徒の発達や理論の理解、発達を踏まえた学習過程や学習方法、評価における基礎的・基本かつ実践的な知識・理解を身に付ける。					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	教科書から教育心理学への理解を深める			2
	授業	学校と教育心理学 (教育心理学の領域、課題、役割、方法) 講義におけるグループ学習の仕方について			
	事後学習	予習の観点の復習 配布資料の振り返り			2
2	事前学習	第 2 講の講義の予習をノートに行う			2
	授業	第 2 回：発達の理論 (発達の概念、発達段階、発達の諸理論) ※児童を含む グループワークとグループディスカッション			
	事後学習	ノートの整理 配布資料の振り返り			2
3	事前学習	第 3 講の講義の予習をノートに行う			2
	授業	第 3 回：乳幼児期の発達 (身体、運動、認知、社会性の発達) グループワークとグループディスカッション			
	事後学習	ノートの整理 配布資料の振り返り			2
4	事前学習	第 4 講の講義の予習をノートに行う			2
	授業	第 4 回：青年期の発達 (青年期の意義、心理、行動) グループワークとグループディスカッション			
	事後学習	ノートの整理 配布資料の振り返り			2
5	事前学習	第 5 講の講義の予習をノートに行う			2
	授業	第 5 回：学習の理論 (学習の概念、条件付け、記憶) グループワークとグループディスカッション			

	事後学習	ノートの整理 配布資料の振り返り	2
6	事前学習	第6講の講義の予習をノートに行う	2
	授業	第6回：効果的な学習（動機づけ、学習指導法） グループワークとグループディスカッション	
	事後学習	ノートの整理 配布資料の振り返り	2
7	事前学習	第7講の講義の予習をノートに行う	2
	授業	第7回：パーソナリティの理解（パーソナリティの形成、理論、理解） グループワークとグループディスカッション	
	事後学習	ノートの整理 配布資料の振り返り	2
8	事前学習	第8講の講義の予習をノートに行う	2
	授業	第8回：知能と学力の理解（知能、知能測定の歴史、学力、知能と学力） グループワークとグループディスカッション	
	事後学習	ノート整理 配布資料の振り返り	2
9	事前学習	第9講の講義の予習をノートに行う	2
	授業	第9回：教育評価（方法、統計の基礎）	
	事後学習	ノート整理 配布資料の振り返り	2
10	事前学習	第10講の講義の予習をノートに行う	2
	授業	第10回：不適応行動の理解（欲求と欲求不満、適応機制、不適切行動） グループワークとグループディスカッション	
	事後学習	ノート整理 配布資料の振り返り	2
11	事前学習	第11講の講義の予習をノートに行う	2
	授業	第11回：学校と教育相談（教育相談の考え方、不登校と教育相談） グループワークとグループディスカッション	
	事後学習	ノート整理 配布資料の振り返り	2
12	事前学習	これまでの講義をノートで振り返る	2
	授業	第12回：心理療法 演習	
	事後学習	ノート整理 配布資料の振り返り	2
13	事前学習	特別支援教育論の講義を振り返る	2
	授業	第13回：特別な支援を必要としている児童・生徒の理解（LD、ADHDへの支援） 演習	
	事後学習	ノート整理 配布資料の振り返り	2
14	事前学習	特別支援教育論の講義を振り返る	2

	授業	第14回：特別な支援を必要としている児童・生徒の理解（自閉スペクトラム症への支援） 演習	
	事後学習	ノート整理 配布資料の振り返り	2
15	事前学習	14回の講義の振り返り	2
	授業	第15回：教育心理学の振り返り	
	事後学習	全講義のノート整理 配布資料の振り返り	2

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

■ 定期試験（ 50 %） □ 小テスト（ 0 %） □ レポート（ 0 %）

■ 演習課題（ 50 %）

□ その他 [なし]

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

理解度をみるために4回程度、課題をノートで提出してもらいます。ノートの内容に対し個別にフィードバックします。

教科書	書名：「教職をめざす人のための教育心理学」、著者名：福村出版, 出版社：978-4-571-20071-7, 備考：
参考書・Web サイト	なし
単位修得が望ましい科目	特になし
備考	授業計画で教科書に記載されていない内容は、資料を配布して講義を行います。
担当教員の実務経験	1985年から京都市、北海道で31年間、公立小中学校教員の勤務経験がある。教員時代には、常に教育心理学と実践をどのように結びつけていくことができるか考え、経験を積んできた。教員経験に基づき、教育心理学の各講義における理論的な内容が教育現場においてどのように結びついているかを学生に考えさせていくことに努める。

教育制度論 Study of Educational Systems

担当 教員	河合 宣孝(非常 勤)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP273
開講学科		種別		配当年次	開講時期
システム情報学科		選択必修		2・3 年	後期
先端経営学科		選択必修		2・3 年	後期
情報メディア学科		選択必修		2・3 年	後期
情報メディア学科メディア デザイン専攻		選択必修		2・3 年	後期
情報メディア学科メディア テクノロジー専攻		選択必修		2・3 年	後期

授業概要

この授業では、第一に、教育という営みを支えている「仕組み」である理念・原則や関係法規、諸制度についての基本的な事項を学習する。

第二に、「仕組み」のひとつである学校制度に焦点を当て、よりよい教育活動を実現させるために欠かせない学校（教員）組織の特徴について、多職種との協働を含め、学習する。

第三に、現在までの教育改革の歴史的変遷を追い、その背景にある社会・家庭・子どもたちの変化と、それに伴い新たに学校教育に求められている役割（地域・家庭との協働、リスクマネジメント等）について知り、現代の学校と子どもをめぐるさまざまな課題について考察を深める。

なお、本授業では、現在の学校に生じている具体的な事例を取り上げディベートを行ったり、DVD 等のさまざまな視聴覚教材を用いディスカッションをしたり、受講者同士が活発に意見交流できるようにする。

授業における学修の到達目標

1. 日本国憲法に定められている国民の教育を受ける権利について十分に理解したうえで、教育の意義・目的を正しく説明できる。
2. 現在までの教育改革の歴史的変遷について理解し、正しく説明できる。
3. 学校（教員）組織の特徴について、特に多職種との協働の意義を理解したうえで、正しく説明できる。
4. 現在の学校・子どもをめぐる課題について考察し、その解決方策を自分なりに考えることができる。

授業計画

回数	授業、事前・事後学習	時間
1	事前学習 シラバスを確認し、授業全体の内容および到達目標を把握する。	2.0
	授業 ガイダンス、教育制度を学ぶことの意義；「制度」とは何か、「制度」の役割	
	事後学習 テキストと配布プリントを再度熟読し、授業内容の理解を深める。	2.0
2	事前学習 日本国憲法第 26 条について、条文とその意義について調べる。	2.0
	授業 教育制度の基本的原理（1）；教育と権利・義務、子どもの学習権	

	事後学習	日本国憲法第 26 条と配布プリントを再度熟読し、授業内容の理解を深める。	2.0
	事前学習	テキストをもとに、教育にかかわる法律の種類と特徴について調べる。	2.0
3	授業	教育制度の基本的原理 (2) ; 国・地方公共団体の教育法, 教育制度の法律主義	
	事後学習	テキストと配布プリントを再度熟読し、授業内容の理解を深める。	2.0
	事前学習	受講者の居住地等の教育委員会の役割・特徴について、ホームページ等をもとに調べる。	2.0
4	授業	教育制度の基本的原理 (3) ; 教育行財政制度	
	事後学習	テキストと配布プリントを再度熟読し、授業内容の理解を深める。	2.0
	事前学習	受講者が小・中学生, 高校生の頃の学習指導要領の内容と特徴について調べる。	2.0
5	授業	教育制度の基本的原理 (4) ; 教育内容の編成と学習指導要領, 教育の計画と評価	
	事後学習	テキストと配布プリントを再度熟読し、授業内容の理解を深める。	2.0
	事前学習	新旧教育基本法の成立過程とその特徴について調べる。	2.0
6	授業	教育制度についての歴史的考察 (1) ; 日本国憲法と教育基本法	
	事後学習	新旧教育基本法と配布プリントを再度熟読し、授業内容の理解を深める。	2.0
7	事前	学校の「荒れ」と呼ばれる現象について、問題化した時期・代表的な事件等を調べる。	2.0

	学 習		
	授 業	教育制度についての歴史的考察（2）；戦後日本の教育制度，現在の教育改革	
	事 後 学 習	配布プリントを再度熟読し，学校の「荒れ」と教育改革との関連について理解を深める。	2.0
8	事 前 学 習	日本にある学校の種類と特徴について調べる。	2.0
	授 業	学校の制度（1）；公教育の制度，教育の機会均等，学校の種類	
	事 後 学 習	テキストと配布プリントを再度熟読し，授業内容の理解を深める。	2.0
9	事 前 学 習	学校長の役割・学級担任の役割について，その法的根拠を調べる。	2.0
	授 業	学校の制度（2）；学校経営と学級経営	
	事 後 学 習	テキストと配布プリントを再度熟読し，授業内容の理解を深める。	2.0
10	事 前 学 習	中教審答申第184号「これからの学校教育を担う教員の資質向上について」（2017年12月）を熟読する。	2.0
	授 業	教職員の制度（1）；教員養成・採用・研修の仕組み	
	事 後 学 習	テキストと配布プリントならびに中教審答申第184号を再度熟読し，授業内容の理解を深める。	2.0
11	事 前 学 習	現在の教員を取り巻く諸問題について調べる。	2.0
	授 業	教職員の制度（2）；教員の専門性，教職員集団・学校組織の特徴と変化	
	事 後 学 習	中教審答申185号「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」（2017年12月）を熟読し，理解を深める。	2.0

	学 習		
	事 前 学 習	現在の子どもたちの中で生じている諸問題について調べる。	2.0
1 2	授 業	現在の学校と子どもたちをめぐる課題 (1) ; いじめ、「学級崩壊」、不登校、中退	
	事 後 学 習	授業内で受講生が提案したさまざまな解決方策についてまとめる。	2.0
	事 前 学 習	現在の学校内で生じている諸問題について調べる。	2.0
1 3	授 業	現在の学校と子どもたちをめぐる課題 (2) ; 学校の安全とリスクマネジメント	
	事 後 学 習	授業内で受講生が提案したさまざまな解決方策についてまとめる。	2.0
	事 前 学 習	第 11 回授業で学習した現在の学校組織の特徴を復習し、中教審答申第 185 号を熟読する。	2.0
1 4	授 業	現在の学校に求められる役割; さまざまな施設・専門職との連携・協働	
	事 後 学 習	テキストと配布プリントを再度熟読し、授業内容の理解を深める。	2.0
	事 前 学 習	第 12、13 回授業で学習した現在の学校を取り巻く諸問題について復習する。	2.0
1 5	授 業	現在の学校に求められる役割; 地域・保護者との連携・協働	
	事 後 学 習	授業内で受講生が提案したさまざまな連携・協働の方策についてまとめる。	2.0
成績評価の方法およびその基準			
次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 □定期試験 ■小テスト (10%) ■レポート (25%) ■演習課題 (35%) ■履修状況 (授業参加など) (30%)			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法			

	<ul style="list-style-type: none"> ・全15回の授業中数回、小レポートを課す。提出されたレポートの内容は後の授業で取り上げ全体で共有し、議論を深める材料とする。 ・レポートには、コメントを入れて返却する。
教科書	書名：新・教育の制度と経営 [三訂版], 著者名：本図愛実・末富 芳, 出版社：学事出版株式会社, 備考：
参考書・Webサイト	<p>事前学習で必要となる文書は以下のウェブサイトより閲覧することが可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子政府の総合窓口 e-Gov 「日本国憲法」 (https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=321CONSTITUTION_19470503_0000000000000000&keyword=%E6%86%B2%E6%B3%95, 最終閲覧：2021年1月25日) ・文部科学省ホームページ「改正前後の教育基本法の比較」 (http://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/06121913/002.pdf, 最終閲覧：2021年1月25日) ・文部科学省ホームページ「中教審第184号『これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～（平成27年12月21日）』」 (www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1365665.htm, 最終閲覧：2021年1月25日) ・文部科学省ホームページ「中教審第185号『チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（平成27年12月21日）』」 (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1365657.htm, 最終閲覧：2021年1月25日) <p>※このほか、講義中に適宜紹介する。</p>
単位修得が望ましい科目	特になし
備考	これまで受講生は、「教育を受ける」立場で教育に関わってきた。しかし将来は、多くが教育に関連する仕事に就くことによって、今度は「教育をする」立場で教育に関わることになる。この講義では、「教える者」「学ぶ者」双方の立場を行き来しながら、「教育」という営みを客観的に捉える姿勢を養う。重要語句や用語を覚えるだけでなく、自分の頭で考え、自分の意見を持ち、それを表現することを意識して講義に臨んでほしい。
担当教員の実務経験	1986年から2020年まで33年間、北海道立高校で教員（教頭職8年、校長職4年）の経験があり、高校現場の実態を踏まえた指導方法や技術を通して、教師を目指す学生たちの教職の基盤づくりに資するような講義実践に努めている。

教育社会学 一休講一 The Sociology of Education

担当教員	菅原 健太()	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義		CTP274
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		選択必修	2 年	前期	
先端経営学科		選択必修	2 年	前期	
情報メディア学科		選択必修	2 年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		選択必修	2 年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		選択必修	2 年	前期	
授業概要					
<p>本講義では、それほど馴染みのない領域であろう「教育社会学」という学問について、専門的な知識を身につけると同時に、自らを取り巻く「教育」や「社会」における問題群を自らの問題として理解し考える力を育むことを目的とする。現代社会を生きる者として、「教育」という営みそれ自体を研究対象とする教育社会学に触れ、その基本的な考え方、考える姿勢を身につけることは非常に有効である。</p> <p>内容としては、Ⅰ. 教育機会の不平等、Ⅱ. 若年層の学校から社会への移行、〈大人になること〉、Ⅲ. 学校空間・若者の現在という3つの柱を立て、教育社会学の領域にて、古くから研究の対象とされているトピックから、現在の若年層の問題まで幅広く授業を展開する。また、「教育社会学」の授業である以上、授業の際には一方的に知識を教授するのではなく、学生の疑問点を授業時間に紹介、解説していくことを通して、自ら学ぶ姿勢の涵養に努めることとする。</p> <p>授業の進め方については、講義形式が中心であるが、授業内容に関する映像の鑑賞も適宜行っていく。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>授業で扱う多様なトピックに触れることで、教育社会的な視点を持ち、自ら「問いを立てる」力、また「自分の答え」を自覚する力を養うことを到達目標とする。さらに、他者の話に耳を傾け、他者の生活世界について知ること、これまでとは違う世界、自分を発見してもらいたい。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習				
	授業				
	事後学習				
2	事前学習				
	授業				
	事後学習				
3	事前学習				
	授業				
	事後学習				
4	事前学習				
	授業				
	事後学習				
5	事前学習				
	授業				
	事後学習				
6	事前学習				
	授業				

教育課程論 School Curriculum Studies

担当教員	河合 宣孝(非常勤)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義(対面)	○	CTP275
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3年	前期	
先端経営学科		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3年	前期	
授業概要					
<p>テーマ：カリキュラム、学習指導要領の変遷、新しい学習指導要領の理念と内容について学ぶ</p> <p>わが国の教育課程は、時代や社会の変化に対応すべく、様々な変化を遂げてきた。本授業では、教育課程やカリキュラムに関する諸理論を概観するとともに、わが国の教育課程の基準としての学習指導要領の基本的な性格やその変遷、さらには学習指導要領の変遷や新しい学習指導要領の理念や改訂内容を踏まえ、今後の新しい学校教育の展開とその課題を考察する。授業においては、学生の教科書の輪読を一つの柱としており、プレゼンテーションやグループワーク、ディスカッションなどを実施する。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>①教育課程に関する基本事項やカリキュラム研究成果（理論）の学びを通して、教育課程・カリキュラムに関する知識を理解し、説明することができる。</p> <p>②学習指導要領の変遷とその主な特徴を把握し、わが国の教育課程行政の仕組みを理解し、説明することができる。</p> <p>③新しい学習指導要領の理念や改訂内容を把握し、これから学校に求められるカリキュラム・マネジメントについて論考し、自分の考えを述べるすることができる。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	教科書の第1章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	ガイダンス 教育課程の意義 カリキュラムメイキング			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
2	事前学習	教科書の第2章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	教育課程編成の思想と構造			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
3	事前学習	教科書の第3章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	近代・現代日本の教育課程の歩み			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
4	事前学習	教科書の第4章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	教育課程の編成と諸要因			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
5	事前学習	教科書の第5章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0

	授業	小学校学習指導要領と教育課程編成の実際 新学習指導要領の理念や改訂過程について	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
6	事前学習	教科書の第6章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	中学校学習指導要領と教育課程編成の実際 新学習指導要領の内容の把握	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
7	事前学習	教科書の第7章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	高等学校学習指導要領と教育課程編成の実際 新学習指導要領の総則を読む	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
8	事前学習	教科書の第8章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	特別支援教育の学習指導要領と教育課程編成の実際	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
9	事前学習	教科書の第9章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	学校経営・学級経営・生徒指導と教育課程の関連 カリキュラム・マネジメントの要点	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
10	事前学習	教科書の第10章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	各教科と道徳・特別活動・総合的な学習の時間の関連	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
11	事前学習	教科書の第11章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	教育課程と評価	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
12	事前学習	教科書の第12章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	カリキュラム開発と学力向上策	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
13	事前学習	教科書の第13章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	現行と次期学習指導要領改訂の経緯と特徴	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
14	事前学習	教科書の第14章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	国際学力調査の教育課程改革への影響	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0

15	事前学習	教科書の第 15 章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	様々な教育課程の改革	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
成績評価の方法およびその基準			
<p>次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。</p> <p><input type="checkbox"/>定期試験 <input checked="" type="checkbox"/>小テスト（10%） <input checked="" type="checkbox"/>レポート（25%） <input checked="" type="checkbox"/>演習課題（35%） <input checked="" type="checkbox"/>履修状況（授業参加など）（30%）</p>			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法			
<p>期限までに提出し、採点や添削などのKR情報を入れて返却する。</p> <p>課題のダウンロードやアップロードはPOLITE3を利用する。</p>			
教科書	書名：改訂新版 教職をめざす人のための教育課程論, 著者名：古川治・矢野裕俊編著, 出版社：北大路書房, 備考：		
参考書・Web サイト	文部科学省（2018）「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示） 田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵（2018）「新しい時代の教育課程〔第4版〕」有斐閣 尾崎博美・井藤元（2018）「ワークで学ぶ教育課程論」ナカニシヤ出版		
単位修得が望ましい科目	「教職概論」「教育原理」		
備考	免許法に基づく中学校・高等学校の教員免許状取得に必要な「教育課程及び指導法に関する科目」における「教育課程の意義及び編成の方法」に対応する。		
担当教員の実務経験	1986年から2020年まで33年間、北海道立高校で教員（教頭職8年、校長職4年）の経験があり、高校現場の実態を踏まえた指導方法や技術を通して、教師を目指す学生たちの教職の基盤づくりに資するような講義実践に努めている。		

商業科教育法 I Teaching Methods of School Subjects (Business Science) 1

担当教員	阿部 諭(非常勤)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)		CTP283
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3 年	前期	
先端経営学科		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3 年	前期	
授業概要					
<p>教科「商業」の基礎的な科目、総合科目、四つの分野の科目構成、目指す能力や内容、指導する際の留意点及び学習評価等について学習する。また、基礎科目、総合科目、四分野の科目から内容の一部を短時間授業として、具体的な事例を取り入れた指導を実践する。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>商業に関する教育内容を体系的に分類し、それぞれの学習分野についての基礎的・基本的な知識と技術を習得する。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスの内容の確認と学習指導要領改訂の理解 (P1~P18) を精読し内容を把握する			2.0
	授業	ガイダンス, 学習指導要領改訂の理解 (P1~P18)			
	事後学習	学習指導要領改訂の内容をまとめ理解を深める			2.0
2	事前学習	科目「ビジネス基礎」を精読し目標, ねらい, 内容等を把握する			2.0
	授業	基礎科目 (ビジネス基礎) の内容等の概観と指導上の留意点 (P19~P27)			
	事後学習	科目「ビジネス基礎」の指導上の留意事項等をまとめ理解を深める			2.0
3	事前学習	科目「ビジネス基礎」の短時間授業に向けた教材研究をする			2.0
	授業	基礎科目 (ビジネス基礎) の具体的事例を踏まえた指導の実践			
	事後学習	授業を終えての自己評価, 批評等をまとめる			2.0
4	事前学習	マーケティング分野を精読し目標, ねらい, 内容等を把握する (P46~P67)			2.0
	授業	マーケティング分野の内容等の概観と指導上の留意点 (P46~P67)			
	事後学習	マーケティング分野の指導上の留意事項等をまとめ理解を深める			2.0
5	事前学習	マーケティング分野の短時間授業に向けた教材研究をする			2.0
	授業	マーケティング分野の具体的事例を踏まえた指導の実践			
	事後学習	授業を終えての自己評価, 批評等をまとめる			2.0
6	事前学習	マネジメント分野を精読し目標, ねらい, 内容等を把握する (P68~P88)			2.0
	授業	マネジメント分野の内容等の概観と指導上の留意点 (P68~P88)			
	事後学習	マネジメント分野の指導上の留意事項等をまとめ理解を深める			2.0
7	事前学習	マネジメント分野の短時間授業に向けた教材研究をする			2.0
	授業	マネジメント分野の具体的事例を踏まえた指導の実践			
	事後学習	授業を終えての自己評価, 批評等をまとめる			2.0
8	事前学習	会計分野を精読し目標, ねらい, 内容等を把握する (P89~P123)			2.0
	授業	会計分野の内容等の概観と指導上の留意点 (P89~P123)			

	事後学習	会計分野の指導上の留意事項等をまとめ理解を深める	2.0
9	事前学習	会計分野の短時間授業に向けた教材研究をする	2.0
	授業	会計分野の具体的事例を踏まえた指導の実践	
	事後学習	授業を終えての自己評価, 批評等をまとめる	2.0
10	事前学習	ビジネス情報分野を精読し目標, ねらい, 内容等を把握する(P124~P158)	2.0
	授業	ビジネス情報分野の内容等の概観と指導上の留意点(P124~P158)	
	事後学習	ビジネス情報分野の指導上の留意事項等をまとめ理解を深める	2.0
11	事前学習	ビジネス情報分野の短時間授業に向けた教材研究をする	2.0
	授業	ビジネス情報分野の具体的事例を踏まえた指導の実践	
	事後学習	授業を終えての自己評価, 批評等をまとめる	2.0
12	事前学習	総合科目(課題研究)を精読し目標, ねらい, 内容等を把握する(P28~P45)	2.0
	授業	総合科目(課題研究)の内容等の概観と指導上の留意点(P28~P45)	
	事後学習	総合科目(課題研究)の指導上の留意事項等をまとめ理解を深める	2.0
13	事前学習	総合科目(ビジネス・コミュニケーション)を精読し目標, ねらい, 内容等を把握する(P39~P45)	2.0
	授業	総合科目(ビジネス・コミュニケーション)の内容等の概観と指導上の留意点(P39~P45)	
	事後学習	総合科目(ビジネス・コミュニケーション)の指導上の留意事項等をまとめ理解を深める	2.0
14	事前学習	学習評価についての資料を収集する	2.0
	授業	学習評価と「指導と評価」の一体化について	
	事後学習	学習評価についての資料の整理とまとめをする	2.0
15	事前学習	学習指導についての資料を収集する	2.0
	授業	職業, 進路, キャリア教育の視点を踏まえた学習指導の在り方, レポート審査, 講評等	
	事後学習	学習指導の資料整理とまとめをする	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

- 定期試験 (%) 小テスト (%) レポート (30 %)
- 演習課題 (%)
- その他 [短時間授業 70%]

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

課題レポートに講評等を記入し返却する。

教科書	書名：高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 商業編, 著者名：文部科学省, 出版社：実教出版株式会社, 備考：
参考書・Web サイト	適宜資料配布
単位修得が望ましい科目	特になし
備考	特になし
担当教員の実務経験	1973 年から 1999 年まで、公立高等学校で専門教科の教員として、生徒の学習指導や生徒指導に携わる。2000 年から 2008 年までは管理職として、学校経営及び教職員の教育指導に携わる。この間、教材開発や授業評価等の研究を実際の授業に生かしてきた。この経験をもとに、分かる授業の進め方、教材研究の重要性、授業評価の必要性などを学生に伝え、共に考え実践に生かしていける教育を実施する。

商業科教育法Ⅱ Teaching Methods of School Subjects(Business Science) 2

担当教員	阿部 諭(非常勤)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)		CTP284
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3年	後期	
先端経営学科		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3年	後期	
授業概要					
<p>商業教育は「ビジネス」の学習を通して、学習者の望ましい人間形成を目指し、産業社会の発展に有為な人材の育成を目的としている。このような趣旨を踏まえて、商業専門科目の内容等とその指導法及び指導技術等を教育現場の課題や問題点を意識しながら、学習指導案、教材研究、模擬授業により進める。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>商業科教員として必要な知識・技術と指導内容、指導方法等の資質の向上を図り、時代に即した望ましい模擬授業の実践と研究に取り組むことができる。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	学習指導の方法、形態等の資料を収集する			2.0
	授業	学校、生徒の実態等を踏まえて学習指導の意義と在り方			
	事後学習	学習指導についての資料の整理とまとめをする			2.0
2	事前学習	学習指導案の書式や書き方などの資料を収集する			2.0
	授業	学習指導案（授業計画案）の作成の実際			
	事後学習	学習指導案作成の留意点等をまとめる			2.0
3	事前学習	各分野で活用できる情報機器等及び教材の事例等を収集する			2.0
	授業	情報機器及び教材の効果的な活用法の研究			
	事後学習	次回以降のために活用できる情報機器等及び教材の具体的事例をまとめる			2.0
4	事前学習	マーケティング分野の科目「マーケティング」の学習指導案を作成する(P46~P54)			2.0
	授業	科目「マーケティング」の学習指導案の検討、修正、改善等を図る			
	事後学習	学習指導案を完成させる			2.0
5	事前学習	科目「マーケティング」の教材に必要な資料を収集する			2.0
	授業	科目「マーケティング」の学習内容を踏まえた教材等の研究			
	事後学習	学習指導案の内容と教材等の整合性の確認をする			2.0
6	事前学習	科目「マーケティング」の模擬授業に向けたシミュレーションをする			2.0
	授業	科目「マーケティング」の模擬授業の実践			
	事後学習	自己評価、相互評価、講評等をまとめる			2.0
7	事前学習	マネジメント分野の科目「ビジネス・マネジメント」の学習指導案を作成する(P68~P75)			2.0
	授業	科目「ビジネス・マネジメント」の学習指導案の検討、修正、改善等を図る			
	事後学習	科目「ビジネス・マネジメント」の学習指導案を完成させる			2.0
8	事前学習	科目「ビジネス・マネジメント」の教材に必要な資料を収集する			2.0

	授業	科目「ビジネス・マネジメント」の学習内容を踏まえた教材等の研究	
	事後学習	学習指導案の内容と教材等の整合性の確認をする	2.0
9	事前学習	科目「ビジネス・マネジメント」の模擬授業に向けたシミュレーションをする	2.0
	授業	科目「ビジネス・マネジメント」の模擬授業の実践	
	事後学習	自己評価, 相互評価, 講評等をまとめる	2.0
10	事前学習	会計分野の科目「簿記」の学習指導案を作成する(89~P95)	2.0
	授業	科目「簿記」の学習指導案の検討, 修正, 改善等を図る	
	事後学習	科目「簿記」の学習指導案を完成させる	2.0
11	事前学習	科目「簿記」の教材に必要な資料を収集する	2.0
	授業	科目「簿記」の学習内容を踏まえた教材等の研究	
	事後学習	学習指導案の内容と教材等の整合性の確認をする	2.0
12	事前学習	科目「簿記」の模擬授業に向けたシミュレーションをする	2.0
	授業	科目「簿記」の模擬授業の実践	
	事後学習	自己評価, 相互評価, 講評等をまとめる	2.0
13	事前学習	ビジネス情報分野の科目「情報処理」の学習指導案を作成する(P124~P131)	2.0
	授業	科目「情報処理」の学習指導案の検討, 修正, 改善等を図る	
	事後学習	学習指導案を完成させる	2.0
14	事前学習	科目「情報処理」の教材に必要な資料を収集する	2.0
	授業	科目「情報処理」の学習内容を踏まえた教材等の研究	
	事後学習	学習指導案の内容と教材等の整合性の確認をする	2.0
15	事前学習	科目「情報処理」の模擬授業に向けたシミュレーションをする	2.0
	授業	科目「情報処理」の模擬授業の実践, レポート審査, 講評等	
	事後学習	自己評価, 相互評価, 講評等をまとめる	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

□試験： % □小テスト： % ■レポート：20% □演習課題： %

■その他[模擬授業（指導案, 教材研究を含む）80%]

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題レポートに講評を記入して返却する

教科書	書名：高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 商業編, 著者名：文部科学省, 出版社：実教出版株式会社, 備考：
参考書・Webサイト	適宜資料配布
単位修得が望ましい科目	特になし
備考	特になし
担当教員の実務経験	1973年から1999年まで、公立高等学校で専門教科の教員として、生徒の学習指導や生徒指導に携わる。2000年から2008年までは管理職として、学校経営及び教職員の教育指導に携わる。この間、教材開発や授業評価等の研究を実際の授業に生かしてきた。この経験をもとに、分かる授業の進め方、教材研究の重要性、授業評価の必要性などを学生に伝え、共に考え実践に生かしていける教育を実施する。

数学科教育法 I Teaching Methods of School Subjects(Mathematics) 1

担当教員	松井 伸也 (224 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)		CTP278
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3 年	前期	
先端経営学科		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3 年	前期	
授業概要					
<p>何か数学的対象を「教える」場合、「定義」を理解することが必要です。定義は論理的な文章で記述されています。様々な数学的事実を明確にし、迷いのない形で「自分の数学」を構成する上での基礎作りを行いたいと思います。これが、将来教員となり数学を教えるときに必須の条件となります。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>数学の教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された数学の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深める。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	指導要領を確認する。			2
	授業	数学とは			
	事後学習	講義で与えた課題を行う。			2
2	事前学習	高校の教科書、特に整式、方程式など、を復習する。			2
	授業	初等関数の背景 — 方程式、多項式など			
	事後学習	講義で与えた課題を行う。			2
3	事前学習	高校の教科書、特に三角関数、指数関数、対数関数など、を復習する。			2
	授業	初等関数の背景 — 三角関数、指数関数、対数関数など			
	事後学習	講義で与えた課題を行う。			2
4	事前学習	高校の教科書、特に微積分、を復習する。			2
	授業	微分積分の背景			
	事後学習	講義で与えた課題を行う。			2
5	事前学習	高校の教科書、特に整式、方程式など、を復習する。			2
	授業	複素数の背景			
	事後学習	講義で与えた課題を行う。			2
6	事前学習	指導要領を確認する。			2
	授業	集合に関する事			
	事後学習	講義で与えた課題を行う。			2
7	事前学習	指導要領を確認する。			2
	授業	論理に関する事			
	事後学習	講義で与えた課題を行う。			2
8	事前学習	指導要領を確認する。			2

	授業	数学 I, A の内容	
	事後学習	講義で与えた課題を行う。	2
9	事前学習	指導要領を確認する。	2
	授業	数学 II, B の内容	
	事後学習	講義で与えた課題を行う。	2
10	事前学習	指導要領を確認する。	2
	授業	数学 III, C の内容	
	事後学習	講義で与えた課題を行う。	2
11	事前学習	模擬講義の準備	2
	授業	三角関数の定義について模擬講義を行う。	
	事後学習	講義で与えた課題を行う。	2
12	事前学習	模擬講義の準備	2
	授業	2次方程式について模擬講義を行う。	
	事後学習	講義で与えた課題を行う。	2
13	事前学習	模擬講義の準備	2
	授業	微分の定義について模擬講義を行う。	
	事後学習	講義で与えた課題を行う。	2
14	事前学習	模擬講義の準備	2
	授業	積分の定義について模擬講義を行う。	
	事後学習	講義で与えた課題を行う。	2
15	事前学習	模擬講義の準備	2
	授業	複素数の定義について模擬講義を行う。	
	事後学習	講義で与えた課題を行う。	2

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

■定期試験 (25%) ■レポート (25%) ■演習課題 (50%)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

適宜質問に答えます。

教科書	
参考書・Web サイト	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校学習指導要領 (最新版)、高等学校学習指導要領 (最新版) (文部科学省) ● 中学校学習指導要領解説 (最新版)、高等学校学習指導要領解説 (最新版) (文部科学省ホームページ) ● 石川剛郎 著「論理・集合・数学語」共立出版 ● 宮腰忠 著「高校数学+アルファ」共立出版
単位修得が望ましい科目	特にありません。
備考	特にありません。
担当教員の実務経験	<p>高校教員 (数学, 3年間, 非常勤)</p> <p>この経験を通じ学生への対応方法の例を挙げます。</p>

数学科教育法Ⅱ Teaching Methods of School Subjects(Mathematics) 2

担当教員	椿 達(854 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義(対面)	○	CTP279
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3年	後期	
先端経営学科		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3年	後期	
授業概要					
<p>テーマ：中学校や高校での数学の授業を担当するための実践力を養う</p> <p>数学科教育法Ⅰで学んだことを基礎にして、授業方法や評価法、指導計画の作成や教育機器の活用法、学習指導案の作成などについて学び、演習(学習指導案の作成、模擬授業、グループ討議)を通して、高等学校において数学の授業を担当するために求められる実践的指導力を養成する。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>学習指導要領に示された高等学校数学の目標や内容を理解するとともに、基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を立てることができる。中学校や高等学校での数学の授業実践力を模擬授業等を通して養う。模擬授業後に学生相互の意見交換を通して、授業観察の目を鍛え、自分の授業を改善していく力と意識を高める。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	教科書を読み、高校数学での既習内容を確認する。			2.0
	授業	講義のガイダンス、数学の授業方法(方略と方策)について			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
2	事前学習	事前に配布された資料を読み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	数学科の学習指導要領の変遷と現在と次期の内容について			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
3	事前学習	事前に配布された資料を読み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	授業目標と評価・学習評価について			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
4	事前学習	事前に配布された資料を読み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	教育機器の活用について			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
5	事前学習	事前に配布された資料を読み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	学習指導案の作成について			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
6	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。			2.0

	授業	模擬授業の実施（数学Ⅰ：2次関数）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
7	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。	2.0
	授業	模擬授業の実施（数学Ⅰ：図形と計量）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
8	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。	2.0
	授業	模擬授業の実施（数学Ⅰ：データ分析）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
9	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。	2.0
	授業	模擬授業の実施（数学A：場合の数と確率）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
10	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。	2.0
	授業	模擬授業の実施（数学A：整数）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
11	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。	2.0
	授業	模擬授業の実施（数学Ⅱ：図形と方程式）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
12	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。	2.0
	授業	模擬授業の実施（数学Ⅱ：微積分）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
13	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。	2.0
	授業	模擬授業の実施（数学B：数列）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
14	事前学習	模擬授業の学習指導案と板書計画を作成する。	2.0
	授業	模擬授業の実施（数学B：ベクトル）	
	事後学習	模擬授業の検討会の内容を振り返り、できていたことや課題になったことをまとめる。	2.0
15	事前学習	今までの模擬授業の検討会記録を読み返し、どのようなことが課題となってきたか、グループ別に整理してみる。	2.0
	授業	本講義を振り返り、議論を通して、学びを深める。	
	事後学習	数学科における授業の学習指導案の作成の基本をマスターできたかどうか、確認する。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

□定期試験 ■小テスト（10%） ■レポート（25%） ■演習課題（35%） ■履修状況（授業参加など）（30%）

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

板書計画や模擬授業の指導案を課題とする。

期限までに提出し、採点や添削などのKR情報を入れて返却する。

検討会の記録はP O L I T Eを利用して提出する。

教科書	書名：改訂版 新編 数学Ⅰ, 著者名：大矢雅則ほか, 出版社：数研出版, 備考：
	書名：改訂版 新編 数学A, 著者名：大矢雅則ほか, 出版社：数研出版, 備考：
	書名：改訂版 新編 数学Ⅱ, 著者名：大矢雅則ほか, 出版社：数研出版, 備考：
	書名：改訂版 新編 数学B, 著者名：大矢雅則ほか, 出版社：数研出版, 備考：

	書名：改訂版 新編 数学Ⅲ, 著者名：大矢雅則ほか, 出版社：978-4-410-80168-6, 備考：
参考書・Web サイト	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）、高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示） ● 中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）解説、高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示）解説 （すべて文部科学省ホームページからダウンロード可）
単位修得が望ましい科目	「教職概論」「教育原理」「教育課程論」「教育方法論と総合的な学習の時間の指導法」
備考	なし
担当教員の実務経験	1986 年から 2015 年まで 29 年間、北海道立高校で教員（2011 年から教頭）の経験が在り、高校現場の実態を踏まえた指導方法や技術の指導を通して、教師を目指す学生たちの教職の基盤づくりに資するような講義に努めている。

数学科教育法Ⅲ Teaching Methods of School Subjects(Mathematics) 3

担当教員	椿 達(854 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義(対面)	○	CTP280
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	3 年	前期	
先端経営学科		必修	3 年	前期	
情報メディア学科		必修	3 年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	3 年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	3 年	前期	
授業概要					
<p>数学科教育法Ⅲは、中学校数学科の目標・内容を踏まえて、教材内容や数学的活動等について学び、もって実践的な指導力の基礎を身につけることを目標とする。そのため、中学校数学に関する教材研究を通じた教材観の習得と授業実践の理解することはもちろん、小学校や高等学校との連続性を踏まえて教材を俯瞰することのできる力量を育むとともに、中学校の数学の教員に求められる基礎的、基本的な資質・能力の習得を目指す。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>中学校数学の目標・学習内容、数学的活動等について理解し、中学校数学の内容に関する教材観を確立するとともに、学習指導案や板書計画の作成、模擬授業を通して授業実践の力量を習得する。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編の第1章と第2章を読む。			2.0
	授業	中学校数学科の目標及び内容、中学生の発達段階、中学校数学の方向性を理解し、グループワークによる問題解決の方途を検討する。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
2	事前学習	中学数学の内容(数と式:1~2年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(数と式:1~2年)を小中高の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにして、グループワークにより問題解決の方途を検討する。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
3	事前学習	中学数学の内容(数と式:2~3年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(数と式:2~3年)を小中高の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにして、グループワークにより問題解決の方途を検討する。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
4	事前学習	中学数学の内容(図形:1~2年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(図形:1~2年)を小中高の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにして、グループワークにより問題解決の方途を検討する。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
5	事前学習	中学数学の内容(図形:2~3年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(図形:2~3年)を小中高の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにして、グループワークにより問題解決の方途を検討する。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
6	事前学習	中学数学の内容(関数:1~2年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(関数:1~2年)を小中高の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにして、グループワークにより問題解決の方途を検討する。			

	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
7	事前学習	中学数学の内容（関数：2～3年）の予習課題に取り組む。	2.0
	授業	中学数学の内容（関数：2～3年）を小中高の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにして、グループワークにより問題解決の方途を検討する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
8	事前学習	中学数学の内容（データの活用：1～2年）の予習課題に取り組む。	2.0
	授業	中学数学の内容（データの活用：1～2年）を小中高の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにして、グループワークにより問題解決の方途を検討する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
9	事前学習	中学数学の内容（データの活用：2～3年）の予習課題に取り組む。	2.0
	授業	中学数学の内容（データの活用：2～3年）を小中高の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにして、グループワークにより問題解決の方途を検討する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
10	事前学習	学習指導案（略案）と板書計画の作成	2.0
	授業	模擬授業（数と式）を実施し、授業研究（検討会）を通して、授業の方略と方策について考察する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
11	事前学習	学習指導案（略案）と板書計画の作成	2.0
	授業	模擬授業（図形）を実施し、授業研究（検討会）を通して、授業の方略と方策について考察する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
12	事前学習	学習指導案（略案）と板書計画の作成	2.0
	授業	模擬授業（関数）を実施し、授業研究（検討会）を通して、授業の方略と方策について考察する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
13	事前学習	学習指導案（略案）と板書計画の作成	2.0
	授業	模擬授業（データの活用：1年）を実施し、授業研究（検討会）を通して、授業の方略と方策について考察する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
14	事前学習	学習指導案（略案）と板書計画の作成	2.0
	授業	模擬授業（データの活用：2年）を実施し、授業研究（検討会）を通して、授業の方略と方策について考察する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
15	事前学習	学習指導案（略案）と板書計画の作成	2.0
	授業	模擬授業（データの活用：3年）を実施し、授業研究（検討会）を通して、授業の方略と方策について考察する。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

□定期試験 ■小テスト（10%） ■レポート（25%） ■演習課題（35%） ■履修状況（授業参加など）（30%）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

<p>板書計画や模擬授業の指導案を課題とする。 期限までに提出し、採点や添削などのKR情報を入れて返却する。 検討会の記録はPOLITE3を利用して提出する。</p>	
教科書	書名：これからの数学1, 著者名：岡部恒治ほか, 出版社：数研出版, 備考：教科書番号 706
	書名：これからの数学2, 著者名：岡部恒治ほか, 出版社：数研出版, 備考：教科書番号 806
	書名：これからの数学3, 著者名：岡部恒治ほか, 出版社：数研出版, 備考：教科書番号 906
参考書・Web サイト	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）、高等学校学習指導要領（平成30年3月告示） ● 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）解説、高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）解説 （すべて文部科学省ホームページからダウンロード可）
単位修得が望ましい科目	「数学科教育法Ⅰ」「数学科教育法Ⅱ」「教職概論」「教育原理」「教育課程論」「教育方法論と総合的な学習の時間の指導法」「進路指導」
備考	なし
担当教員の実務経験	1986年から2015年まで29年間、北海道立高校で教員（2011年から教頭）の経験が在り、高校現場の実態を踏まえた指導方法や技術の指導を通して、教師を目指す学生たちの教職の基盤づくりに資するような講義に努めている。

数学科教育法Ⅳ Teaching Methods of School Subjects(Mathematics) 4

担当教員	笹山 智司 (306 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP281
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	3 年	後期	
先端経営学科		必修	3 年	後期	
情報メディア学科		必修	3 年	後期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	3 年	後期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	3 年	後期	
授業概要					
<p>数学科教育法Ⅳは、数学科教育法Ⅲで習得した数学教育についての知識・理解・技能を踏まえ、コンピュータを活用した教材開発力を鍛え、もって数学授業の基礎的な実践的指導力の習得を目標とします。そのため、コンピュータを活用した授業の構想と考察し、関数グラフ・ソフトを用いて教科書の内容に基づく教材開発を行い、実践的な授業技術の習得を目指します。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>中学数学の目標・学習内容、数学活動等について理解する。中学数学の学習における関数グラフ・ソフトの活用法を理解し、関数グラフ・ソフトを活用する力量を習得するとともに、関数グラフ・ソフトを用いた教材開発やそれを活用した授業設計を工夫する。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	学習指導要領(平成 29 年度告示)解説 数学偏の第 1 章と第 2 章を読む。			2.0
	授業	数学科教育法Ⅳの学習目標、関数グラフソフトの意義とその実例、グループワークによる問題解決			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
2	事前学習	中学数学の内容(数と式：1～2 年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(数と式：1～2 年)を初等・中等教育の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにしてグループワークによる問題解決。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
3	事前学習	中学数学の内容(数と式：2～3 年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(数と式：1～2 年)を初等・中等教育の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにしてグループワークによる問題解決。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
4	事前学習	中学数学の内容(図形：1～2 年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(数と式：1～2 年)を初等・中等教育の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにしてグループワークによる問題解決。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
5	事前学習	中学数学の内容(図形：2～3 年)の予習課題に取り組む。			2.0
	授業	中学数学の内容(図形：2～3 年)を初等・中等教育の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにしてグループワークによる問題解決。			
	事後学習	授業の復習・宿題レポート			2.0
6	事前学習	中学数学の内容(関数：1～2 年)の予習課題に取り組む。			2.0

	授業	中学数学の内容(関数：1～2年)を初等・中等教育の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにしてグループワークによる問題解決。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
7	事前学習	中学数学の内容(関数：2～3年)の予習課題に取り組む。	2.0
	授業	中学数学の内容(関数：2～3年)を初等・中等教育の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにしてグループワークによる問題解決。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
8	事前学習	中学数学の内容(データの活用：1～2年)の予習課題に取り組む。	2.0
	授業	中学数学の内容(データの活用：1～2年)を初等・中等教育の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにしてグループワークによる問題解決。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
9	事前学習	中学数学の内容(データの活用：2～3年)の予習課題に取り組む。	2.0
	授業	中学数学の内容(データの活用：2～3年)を初等・中等教育の連続性を踏まえて理解するとともに、課題を明らかにしてグループワークによる問題解決。	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
10	事前学習	POLITE 掲載のレジユメの予習	2.0
	授業	関数グラフソフト Geogebra (関数教材) グループワークによる問題解決	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
11	事前学習	POLITE 掲載のレジユメの予習	2.0
	授業	関数グラフソフト Geogebra (幾何教材) グループワークによる問題解決	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
12	事前学習	POLITE 掲載のレジユメの予習	2.0
	授業	関数グラフソフト Geogebra (代数教材) グループワークによる問題解決	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
13	事前学習	POLITE 掲載のレジユメの予習	2.0
	授業	関数グラフソフト Geogebra (統計教材) グループワークによる問題解決	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
14	事前学習	POLITE 掲載のレジユメの予習	2.0
	授業	教材の作成(数学ソフト教材の開発) (1) グループワークによる問題解決	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0
15	事前学習	POLITE 掲載のレジユメの予習	2.0
	授業	教材の作成(数学ソフト教材の開発) (2) グループワークによる問題解決	
	事後学習	授業の復習・宿題レポート	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

■ 定期試験 40% ■ 小テスト 30% ■ レポート 30% □ 演習課題 なし □ その他 なし

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

試験、小テストの解説、レポートに対するコメントによる

教科書	書名：中学数学 1, 著者名：, 出版社：教育出版, 備考：
	書名：中学数学 2, 著者名：, 出版社：教育出版, 備考：
	書名：中学数学 3, 著者名：, 出版社：教育出版, 備考：

参考書・Web サイト	中学校学習指導要領解説（数学）
単位修得が望ましい科目	数学科教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
備考	なし
担当教員の実務経験	なし

情報科教育法 I Teaching Methods of School Subjects (Information Science) 1

担当教員	山北 隆典 (139 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP276
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3 年	前期	
先端経営学科		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3 年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3 年	前期	
授業概要					
<p>高等学校の共通教科情報科及び専門教科情報科の授業を担当するために最低限必要な事項、すなわち、教科の目標、科目の編成、指導内容、それらの取扱い等について、学習指導要領解説情報編をもとに確認します。特に、共通教科情報科は必履修教科であるため、教科目標、科目編成、指導内容については情報教育の体系的・系統的なカリキュラムの中に位置付けて確認していきます。</p> <p>また、学習指導計画の作成を行う上で拠り所となる事項（教科目標、観点別学習状況の評価、実習中心の授業展開）について、ICT 活用と関連付けて確認していきます。これらの知識は情報科教育法 II の履修につながるものです。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>高等学校の共通教科情報科及び専門教科情報科について、わが国における情報教育の体系的・系統的なカリキュラムの中に位置付けて、教科の目標、科目の編成、指導内容等を説明できるようになることを目指します。</p> <p>また、学習指導案を作成する上で拠り所となる事項（教科目標、観点別学習状況の評価、実習中心の授業展開）について ICT 活用と関連付けて説明できるようになることを目指します。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	学習指導要領解説情報編（共通教科）の第 1 章総説に目を通してください。			2
	授業	共通教科情報科に関する総説			
	事後学習	授業で配布する確認問題に解答してください。			2
2	事前学習	学習指導要領解説情報編（共通教科）の第 2 章第 1 節に目を通してください。			2
	授業	「情報 I」の目標と内容の取扱い			
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。			2
3	事前学習	学習指導要領解説（共通教科）の第 2 章第 1 節で触れている情報技術について、説明できない事項について調査しておきましょう。			2
	授業	「情報 I」の内容と情報技術			
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。			2
4	事前学習	学習指導要領解説情報編（共通教科）の第 2 章第 2 節に目を通してください。			2
	授業	「情報 II」の目標と内容の取扱い			
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。			2
5	事前学習	学習指導要領解説（共通教科）の第 2 章第 2 節で触れている情報技術について、説明できない事項について調査しておきましょう。			2
	授業	「情報 II」の内容と情報技術			
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。			2
6	事前学習	学習指導要領解説情報編（共通教科）の第 3 章に目を通してください。			2
	授業	共通教科情報科における指導計画の作成と内容の取り扱い			

	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。	2
7	事前学習	学習指導要領解説情報編（専門教科）の第1章に目を通してください。	2
	授業	専門教科情報科の目標と科目編成	
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。	2
8	事前学習	学習指導要領解説情報編（専門教科）の第2章に目を通してください。	2
	授業	専門教科情報科の各科目の内容理解	
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。	2
9	事前学習	学習指導要領解説情報編（専門教科）の第3章に目を通してください。	2
	授業	専門教科情報科における指導計画の作成と内容の取扱い	
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。	2
10	事前学習	観点別学習状況評価に関する配布資料に目を通してください。	2
	授業	観点別学習状況の評価	
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。	2
11	事前学習	教育の情報化とICT環境整備に関する配布資料に目を通してください。	2
	授業	教育の情報化と学校におけるICT環境の整備	
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITE から提出してください。	2
12	事前学習	情報科教育法Iで学んだ学習指導案の作成ポイントを復習しておきましょう。	2
	授業	普通教室での授業展開と授業計画シートの作成（個人ワーク）	
	事後学習	授業計画シートを完成させてください。	2
13	事前学習	授業計画シートに対する自己評価を準備しておいてください。	2
	授業	授業計画シートの作成（グループワーク）	
	事後学習	授業計画シートをPOLITE から提出してください。	2
14	事前学習	模擬授業の準備をしてください。	2
	授業	模擬授業の実施（プレゼンテーション）	
	事後学習	模擬授業での知見をまとめ、POLITE から提出してください。	2
15	事前学習	模擬授業を振り返り、授業計画シートの改善を検討してください。	2
	授業	模擬授業の振り返りと授業計画シートの改善（ディスカッション）	
	事後学習	改善した授業計画シートをPOLITE から提出してください。	2

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。グループワークについては、グループ内での行動について自己評価および相互評価を行い、その結果を考慮して担当教員が採点を行う。

■ 定期試験（50%） ■ 小テスト（20%） ■ レポート（20%）

□ 演習課題（ ） ■ その他 [グループワーク：10%]

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

小テストは授業内に解答・解説を行います。レポートは提出後の授業内に適宜コメントします。授業計画シート作成・模擬授業などの演習については、終了後に授業内で問題提起や助言を行います。

試験に関しては、回収後にポイントを解説します。

教科書 書名：高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 情報編, 著者名：文部科学省, 出版社：開隆堂出版, 備考：

参考書・Web サイト 岡本敏雄ほか：情報科教育法 第2版 丸善出版（2015）
久野靖, 辰巳丈夫：情報科教育法（改訂3版）オーム社（2016）

	文部科学省：中学校学習指導要領（平成 29 年公示）解説 技術・家庭編 (2017) その他 Web サイトについては、適宜、授業内で紹介します。
単位修得が望ましい科目	情報系，メディア系基礎科目
備考	<p>共通教科，専門教科を問わず，情報科においては，本学における専門教科の内容と強く関連する項目が多くあります。受講者はすでにそれらの内容については概ね理解できているものとして，本講では詳細に取扱いません。理解できていない，もしくはこれまでに学習していない場合には，その内容を独学しながら受講する覚悟が求められます。</p> <p>また，授業ではグループワーク，プレゼンテーション，ディスカッションの場が用意されています。授業への積極的な参加態度が求められます。</p>
担当教員の実務経験	実務経験なし

情報科教育法Ⅱ Teaching Methods of School Subjects(Information Science) 2

担当教員	山北 隆典(139 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義(対面)	○	CTP277
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3年	後期	
先端経営学科		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3年	後期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3年	後期	
授業概要					
<p>情報科教育法Ⅰで学んだ内容をもとに、共通教科「情報」の授業を対象とし、実習中心の指導を行うための指導案の作成方法と授業の進め方を体験的に学習します。授業では教材研究、教材作り、学習指導案の作成・検討にグループワークで取り組み、学習指導案作りのポイントを確認します。さらに、学習指導案に基づいた模擬授業を体験し、授業を進める上でのポイントについても確認します。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>実習中心の実践的な授業に関する指導計画を立案するための基本的な考え方、配慮すべき事項を説明できるようになることを目指します。</p> <p>教科目標の達成に向けた授業を展開するために指導方法を工夫し、実践していくために求められるスキルや態度を説明できるようになることを目指します。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	情報科教育法Ⅰの授業で作成したレポート内容を振り返っておきましょう。			2
	授業	学習指導計画の作成(実習中心の授業展開)			
	事後学習	授業の内容をまとめ、POLITEから提出してください。			2
2	事前学習	教材研究に関する配布資料の内容を精査し、不明点は各自調査しておきましょう。			2
	授業	実習教材研究(情報のデジタル化)			
	事後学習	実習結果をまとめておきましょう。			2
3	事前学習	実習結果をもとに、授業をイメージし、学習目標と評価規準を設定しましょう。			2
	授業	教材化検討(情報のデジタル化)			
	事後学習	学習指導案(授業で使用する配布資料等も含め)を完成させましょう。			2
4	事前学習	教材研究に関する配布資料の内容を精査し、不明点は各自調査しておきましょう。			2
	授業	実習教材研究(情報セキュリティ)			
	事後学習	実習結果をまとめておきましょう。			2
5	事前学習	実習結果をもとに、授業をイメージし、学習目標と評価規準を設定しましょう。			2
	授業	教材化検討(情報セキュリティ)			
	事後学習	学習指導案(授業で使用する配布資料等も含め)を完成させましょう。			2
6	事前学習	教材研究に関する配布資料の内容を精査し、不明点は各自調査しておきましょう。			2
	授業	実習教材研究(アルゴリズム)			
	事後学習	実習結果をまとめておきましょう。			2
7	事前学習	実習結果をもとに、授業をイメージし、学習目標と評価規準を設定しましょう。			2
	授業	教材化検討(アルゴリズム)			

	事後学習	学習指導案（授業で使用する配布資料等も含め）を完成させましょう。	2
8	事前学習	教材研究に関する配布資料の内容を精査し、不明点は各自調査しておきましょう。	2
	授業	実習教材研究（モデル化とシミュレーション）	
	事後学習	実習結果をまとめておきましょう。	2
9	事前学習	実習結果をもとに、授業をイメージし、学習目標と評価規準を設定しましょう。	2
	授業	教材化検討（モデル化とシミュレーション）	
	事後学習	学習指導案（授業で使用する配布資料等も含め）を完成させましょう。	2
10	事前学習	教材研究に関する配布資料の内容を精査し、不明点は各自調査しておきましょう。	2
	授業	実習教材研究（データの収集・整理・分析）	
	事後学習	実習結果をまとめておきましょう。	2
11	事前学習	実習結果をもとに、授業をイメージし、学習目標と評価規準を設定しましょう。	2
	授業	教材化検討（データの収集・整理・分析）	
	事後学習	学習指導案（授業で使用する配布資料等も含め）を完成させましょう。	2
12	事前学習	各自がこれまで作成した指導案から1点を選択しておきましょう。	2
	授業	グループの指導案作成	
	事後学習	グループの指導案を完成させましょう。	2
13	事前学習	各自で模擬授業を行い、問題点をまとめておきましょう。	2
	授業	グループ内模擬授業と指導案改善	
	事後学習	グループ内模擬授業の成果・改善点を整理し、指導案を改善しましょう。	2
14	事前学習	模擬授業の指導案を確認しておきましょう。授業者は、模擬授業のリハーサルを行いましょう。	2
	授業	模擬授業（Aグループ）と検討会	
	事後学習	検討会で得た知見をまとめましょう。	2
15	事前学習	模擬授業の指導案を確認しておきましょう。授業者は、模擬授業のリハーサルを行いましょう。	2
	授業	模擬授業（Bグループ）と検討会及び総合演習	
	事後学習	検討会で得た知見をまとめましょう。授業で扱えなかった分野について教材化について考えてみましょう。	2

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。グループワークについては、グループ内での行動について自己評価および相互評価を行い、その結果を考慮して担当教員が採点を行う。

定期試験（ %） 小テスト（ %） レポート（ 50%）

演習課題（ %） その他 [模擬授業：30% 総合演習：20%]

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポートについては、提出後に講評を行います。教材研究・指導案作成・模擬授業などの演習については、終了後に授業内で問題提起や助言を行います。総合演習については、終了後に授業内で講評を行います。

教科書	書名：情科 307 最新情報の科学 新訂版, 著者名：監修：山極隆, 編修・執筆：岡本敏雄、ほか, 出版社：実教出版, 備考：
参考書・Web サイト	文部科学省：高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)解説 情報編 開隆堂出版(2010) 岡本敏雄ほか：情報科教育法 第2版 丸善出版(2015) 久野靖, 辰巳丈夫：情報科教育法(改訂3版) オーム社(2016)
単位修得が望ましい科目	情報科教育法Ⅰ (わが国における情報教育の体系的・系統的なカリキュラムの中に位置付けて、教科「情報」の目標、科目の編成、指導内容等を説明できること、学習指導要領の内容を理解して

	いること、学習指導計画を作成する上で拠り所となる事項について ICT 活用と関連付けて説明できることが受講の前提となります。)
備考	単なる知識伝達の授業ではありません。グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションが中心となりますので、授業への積極的な参加態度が求められます。
担当教員の実務経験	実務経験なし

道徳教育の理論と実践 Theory and Practice of Moral Education

担当教員	日下部 憲一(非常勤)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2単位	講義(対面)	○	CTP285
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3年	前期	
先端経営学科		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3年	前期	
授業概要					
<p>道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。</p> <p>また、グループワーク、グループディスカッションや問題解決的な学習等にアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れるとともに、毎回の授業で自己評価(授業の感想、わかったことや新たな発見、疑問点等)カードを配付回収し、次週の授業で前時の復習、疑問等に応える授業体制を組みながら教員としての資質能力の向上を目指す。</p>					
授業における学修の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 道徳の意義や原理等をふまえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 道徳の本質(道徳とは何か)を説明できる。 道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ・情報モラル等)を理解している。 子供の心の成長と道徳性の発達について理解している。 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> 学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。 道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解している。 道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。 授業のねらいや指導過程を明確にして、道徳科の学習指導案を作成することができる。 徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解している。 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。 					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスを確認し授業全体の内容を把握する。			2.0
	授業	オリエンテーション及び道徳教育の意義、道徳教育の現状と課題(子供を取り巻く現状等)			
	事後学習	授業内容と課題レポート①をまとめる。			2.0
2	事前学習	教育勅語及びコールバーグの道徳性発達理論について把握する。			2.0
	授業	道徳教育の歴史(戦前と戦後)及び道徳の理論(本質、子供の道徳性の発達等)			
	事後学習	授業内容をまとめる。			2.0
3	事前学習	教科書等で道徳教育と道徳科の目標及び道徳科の内容について把握する。			2.0
	授業	道徳教育の実践1(道徳教育と道徳科の目標及び道徳科の内容)			
	事後学習	授業内容をまとめる。			2.0
4	事前学習	教科書等で指導計画の作成及び道徳科の特質とその指導の在り方について把握する。			2.0

	授業	道徳教育の実際2（指導計画の作成及び道徳科の特質とその指導の在り方）	
	事後学習	授業内容をまとめる。	2.0
5	事前学習	教科書等で題解決的な学習やモラルジレンマ学習及び情報モラル等の現代的課題の指導について把握する。	2.0
	授業	道徳教育の実際3（アクティブ・ラーニングを位置づけた課題解決的な学習やモラルジレンマ学習等学習指導の多様な展開及び情報モラル等の現代的課題の指導）	
	事後学習	授業内容と課題レポート②をまとめる。	2.0
6	事前学習	教科書等で教材開発の創意工夫と道徳科に生かす教材について把握する。	2.0
	授業	道徳教育の実際4（教材開発の創意工夫と道徳科に生かす教材）	
	事後学習	授業内容をまとめる。	2.0
7	事前学習	教科書等で道徳科の評価について把握する。	2.0
	授業	道徳教育の実際5（道徳科の評価）	
	事後学習	授業内容をまとめる。	2.0
8	事前学習	読み物教材「おかあさんのせい求書」の内容を把握しその学習指導案を構想する。	2.0
	授業	道徳授業の実際1（アクティブ・ラーニングを位置づけた読み物教材「おかあさんのせい求書」の模擬授業）	
	事後学習	授業内容をまとめる。	2.0
9	事前学習	読み物教材「バスと赤ちゃん」の内容を把握しその学習指導案を構想する。	2.0
	授業	道徳授業の実際2（読み物教材「バスと赤ちゃん」の模擬授業と授業改善の視点）	
	事後学習	授業内容と課題レポート③をまとめる。	2.0
10	事前学習	与えられた複数の読み物教材の内容を把握し、その学習指導案を構想する。	2.0
	授業	学習指導案の研究と作成1（読み物教材による学習指導案の研究）	
	事後学習	授業内容をまとめる。	2.0
11	事前学習	選択した読み物教材の学習指導案をより深く構想する。	2.0
	授業	学習指導案の研究と作成2（読み物教材による研究結果から学習指導案の作成）	
	事後学習	授業内容をまとめ、ポスターセッション発表会に向け作成した学習指導案の発表内容を検討する。	2.0
12	事前学習	視聴覚教材による学習指導案の在り方について把握する。	2.0
	授業	学習指導案の研究と作成3（視聴覚教材による学習指導案の研究）	
	事後学習	授業内容をまとめ、共同研究による課題レポート④をまとめる。	2.0
13	事前学習	新聞教材による学習指導案の在り方について把握する。	2.0
	授業	学習指導案の研究と作成4（新聞教材による学習指導案の研究）	
	事後学習	授業内容をまとめ、共同研究による課題レポート⑤をまとめる。	2.0
14	事前学習	ポスターセッション発表会に向け準備する。	2.0
	授業	学習指導案の研究発表と意見交流（ポスターセッションによる発表会）	
	事後学習	授業内容をまとめる。	2.0
15	事前学習	14回の授業内容を確認し、最終課題レポートについて構想する。	2.0
	授業	道徳教育のまとめと展望（道徳の本質と子供の心の成長及び教育活動全体を通じた指導の在り方等）	
	事後学習	授業内容と最終課題レポート⑥をまとめる。	2.0
成績評価の方法およびその基準			

<p>次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。</p> <p>■試験：50 % ■課題レポート：30 %</p> <p>■学習態度・発表：20 %</p>	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	
<p>個人の課題レポートや共同研究の課題レポートについては、授業内でコメントする。また、試験結果の講評については、学内の掲示板にて公表する。</p>	
教科書	<p>書名：中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編，著者名：文部科学省，出版社：教育出版株式会社，備考：</p>
参考書・Web サイト	<p>使用しない</p>
単位修得が望ましい科目	<p>なし</p>
備考	<p>日頃から書籍や新聞報道等を通して身近な教育問題に関心を持つとともに、事前・事後学修を適切に行い常に課題意識をもち授業に臨む。また、授業後適宜出す課題レポートは次週に必ず提出すること。</p>
担当教員の実務経験	<p>道徳の教科化に伴い、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から道徳教科書を使った授業が行なわれている。下記の内容について実務経験がある。</p> <p>教科名 平成30年度 小学校道徳（東京書籍株式会社） 編集委員として、教科書、教師用指導書、図書教材等についての内容検討、執筆及び校閲に当たった。</p> <p>小学校道徳科教科書「新訂 新しい道徳」（令和2年度 東京書籍株式会社） 編集委員として、教科書、教師用指導書、図書教材等についての内容検討、執筆及び校閲に当たった。</p> <p>中学校道徳科教科書「新訂 新しい道徳」（令和3年度発行予定 東京書籍株式会社） 編集委員として、教科書、教師用指導書、図書教材等についての内容検討、執筆及び校閲に当たっている。</p> <p>実務経験を活かし、教育現場に求められる道徳教育及びその要となる道徳科の在り方等について理解を深めるとともに、教材研究や学習指導案の作成等に資する授業を行なっていく。</p>

特別活動論 Study of Special Activities

担当教員	真鍋 孝徳(非常勤)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義(対面)	○	CTP286
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3年	前期	
先端経営学科		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3年	前期	
授業概要					
<p>学校の教育課程は大きく分けると、授業を中心とした教科指導と授業以外の諸活動を含んだ教科外活動に区別されます。この中の教科外活動が「特別活動」に相当します。学校教育には知識や技術等を習得していく教科学習だけでなく、自主的な諸活動を通して、子どもの中に自律的で協同的な生活態度を形成していく教科外活動、すなわち特別活動が必要です。</p> <p>高等学校の教育課程の一領域である特別活動は、教育が目指す「人格の完成」と深くかかわっています。学校が「人間としての調和のとれた育成」に力点をおくならば、教科などの教育活動だけでなく、特別活動の働きが不可欠となります。</p> <p>歴史的には、教科外活動は戦前から行われていました。戦後、この教科外活動が「特別活動」として、教育課程に位置づけられていきます。</p> <p>高等学校における特別活動の歩みは、「自由研究」(1947年)、「特別教育活動」(1951年)、「各教科以外の教育活動」(1970年)、「特別活動」(1978年)というように、名称が変遷してきており、同時にその内容も変化してきました。現在の高等学校での特別活動の内容は、ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事から構成されています。</p> <p>本科目は特別活動(高等学校)の歴史や意義、目標ならびに内容を理解し、指導原理等、三領域の内容と指導、特別活動の評価等について学んでいきます。</p>					
授業における学修の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別活動の意義と目標(高等学校)を理解する。 2. 特別活動の各内容ごとの特質と指導原理を学ぶ。 3. ホームルーム活動の機能と役割を把握する。 					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスを確認し授業の全体の内容を把握する。			2.0
	授業	学校の現状における特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携			
	事後学習	「いじめ」や「校内暴力」に関して、文献研究を行う。			2.0
2	事前学習	前時に示した「集団の荒れ」について、学校が荒れることに関して考察する。			2.0
	授業	学校の状態を段階的にとらえた生徒会活動とクラブ活動の特質の理解			
	事後学習	いじめ(殺人に至る)事例と「いじめの四層構造」に対する復習をする。			2.0
3	事前学習	前時に示した「個人の荒れ」と部活動の効果について心理的效果を考える。			2.0
	授業	入学式から始めるHR活動「高1スタートアップ・ガイダンスカリキュラム」			
	事後学習	荒れ対応論文「特別活動における授業中の逸脱行為に対処する個と集団への対応」を読む。			2.0
4	事前学習	前時に示した「秋山木工」の人材育成につて、ネット情報から検索する。			2.0
	授業	教育課程における特別活動の位置づけと「キャリアモデル教材」の在り方(ディスカッション)			
	事後学習	ワーキングプアーや貧困について、ネット情報を検索してみる。			2.0
5	事前学習	自分の思い出に残る学校行事について、レポート作成して提出する。			2.0

	授業	学校行事と児童会・生徒会活動の合意形成、意志決定につながる指導と集団活動	
	事後学習	学校行事と生徒の心理的成長について考え文献研究を行う。	2.0
6	事前学習	反省的実践家の文献研究を行う。	2.0
	授業	教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方と教師の力量形成(ディスカッション)	
	事後学習	マイクロカウンセリング技法の中間三技法における事例を見る視点を勉強する。	2.0
7	事前学習	受容・繰り返し・明確化・指示・質問のカウンセリング基礎技法の文献研究を行う。	2.0
	授業	生徒の心をとらえる個別面談の理論と演習(グループワーク)	
	事後学習	リレーションを作る・問題の把握・適切な処置のコーヒークップ方式の般化を行う	2.0
8	事前学習	心を強くする啓発理論や啓発書を研究する。	2.0
	授業	話し合い活動Ⅰ「サイコエデュケーション」(ディスカッション)	
	事後学習	胸襟を開いた話し合い(自己開示)についての考察を行う。	2.0
9	事前学習	各種集団カウンセリングについて事前に資料を配布した物を読んでくる。	2.0
	授業	話し合い活動Ⅱ「構成的グループエンカウンター(SGE)」(グループワーク)	
	事後学習	自己開示・自己理解・他者理解・信頼体験について、レポート提出する。	2.0
10	事前学習	発達支援について事前に資料を配布した物を読んでくる。	2.0
	授業	学習指導要領における特別活動の「発達支援」への理解	
	事後学習	発達障害について視聴した画像教材についてレポート提出する。	2.0
11	事前学習	自身のキャリアに対する希望や不安をまとめてくる。	2.0
	授業	教育課程における特別活動での「キャリア教育」の指導の在り方	
	事後学習	学んだキャリア理論に即して、自身のキャリア開発で「気づいた点」についてレポート提出	2.0
12	事前学習	いじめについて、自身の周りや自身の事例をまとめて、授業に参加する。	2.0
	授業	学級活動・HR活動の課題Ⅰ「いじめ」(ディスカッション)	
	事後学習	いじめに対する対処方法について、検討しまとめる。	2.0
13	事前学習	自分の身近な人の死について、思い起こしてから参加する。	2.0
	授業	学級活動・HR活動の課題Ⅱ「命の授業」(ディスカッション)	
	事後学習	自分の家族や、将来の自身が築くであろう家族像についてレポート提出する。	2.0
14	事前学習	部活動に対する体験や考え方をまとめる。	2.0
	授業	特別活動におけるクラブ活動の特質の理解	
	事後学習	部活動の心理的成長の効果について考察する。	2.0
15	事前学習	幸福学についての文献研究を行う。	2.0
	授業	特別活動における教師の実践的見識としての「幸福学」(ディスカッション)	
	事後学習	改めて、学問として学んだ「幸福感」について、レポート提出する。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

■ 定期試験 (40 %) □ 小テスト (%) ■ レポート (40 %)

■ 演習課題 (20 %)

□ その他 []

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

試験の解説、およびレポートに対するコメントによりフィードバックを行う。

教科書

参考書・Web サイト	中谷 彪・白井 英治・大津 尚志 編 「特別活動のフロンティア」 晃洋書房 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 特別活動編（最新版）」 東山書房 「中学校学習指導要領解説 特別活動編（最新版）」 東山書房
単位修得が望ましい科目	なし
備考	なし
担当教員の実務経験	1989 年より高校教諭として、教育現場でホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の指導に従事している。特にホームルーム担任や生徒指導部長等の経験より「学校、学級、学年経営と特別活動」について、実際の指導場面の観点より、学生に学んでもらいたいと願っている。

生徒指導 Student Guidance

担当教員	五浦 哲也 (858 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP288
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	1・2 年	前期	
先端経営学科		必修	1・2 年	前期	
情報メディア学科		必修	1・2 年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	1・2 年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	1・2 年	前期	
授業概要					
<p>生徒指導の意義を理解し、いじめ、不登校、暴力行為、喫煙、薬物乱用、万引き、学級崩壊、インターネット等の生徒指導諸問題に対し自己指導能力の育成を目指し指導計画に基づき組織的に校内外連携の理解や体罰防止、生徒懲戒等の法的理解に関する知識・技能を身に付ける。講義内容に関わるグループワーク。学生が、子どもたち対象に作成した生徒指導啓発授業（プレゼンテーション）とディスカッション。</p>					
授業における学修の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の意義と全教育活動における計画や校内外連携の重要性について理解する。 2. 生徒指導諸問題の対応について主体的に考え、判断・表現し解決方策を身に付ける。 					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスやテキストの通読による概要把握			2
	授業	テキスト第 1 章 生徒指導の基本についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 プレゼンテーション（生徒指導に係る授業）についての説明、実演			
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り プレゼンテーション準備			2
2	事前学習	第 2 章の通読による概要把握 プレゼンテーション準備			2
	授業	第 2 章 生徒指導と教師の姿についてパワーポイントに基づき対話形式による講義			
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り プレゼンテーション準備			2
3	事前学習	第 3 章の通読による概要把握 プレゼンテーション準備			2
	授業	第 3 章 生徒指導体制についてパワーポイントに基づき対話形式による講義			
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料振り返り プレゼンテーション準備			2
4	事前学習	第 4 章の通読による概要把握 プレゼンテーション準備			2
	授業	第 4 章 子どもに自立を促す生徒指導の手法についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション			

	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
5	事前学習	第4章の通読による概要把握	2
	授業	第4章 子どもに自立を促す生徒指導の手法についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
6	事前学習	第5章の通読による概要把握	2
	授業	第5章 生徒指導と法制度についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
7	事前学習	第6章の通読による概要把握	2
	授業	第6章 少年非行についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
8	事前学習	第7章の通読による概要把握	2
	授業	第7章 いじめについてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
9	事前学習	第8章の通読による概要把握	2
	授業	第8章 生徒指導と教育相談についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ディスカッションノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
10	事前学習	第9章の通読による概要把握	2
	授業	第9章 不登校についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
11	事前学習	第10章の通読による概要把握	2
	授業	第10章 生徒指導と学級経営についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
12	事前学習	第11章の通読による概要把握	2
	授業	第11章 生徒指導と授業についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2

13	事前学習	第12章の通読による概要把握	2
	授業	第12章 多様な子どもたちについてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
14	事前学習	第13章の通読による概要把握	2
	授業	第13章 生徒指導とキャリア教育についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	ノート整理 テキスト・配布資料の振り返り	2
15	事前学習	第14章の通読による概要把握	2
	授業	第14章 生徒指導と危機管理についてパワーポイントに基づき対話形式による講義 学生によるプレゼンテーションとディスカッション	
	事後学習	全講義内容ノート整理・確認 テキスト・配布資料の全内容の振り返り	2

成績評価の方法およびその基準

標準評価基準に基づき総合評価する。

■ 定期試験 (50 %) □ 小テスト (0 %) □ レポート (0 %)

■ 演習課題 (50 %)

□ その他 []

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

演習課題の評価のポイントを公表し、返却時に個別に解説を行います。

教科書	書名：三訂版 入門 生徒指導「いじめ防止対策推進法」「チーム学校」「多様な子どもたちへの対応」まで、著者名：学事出版, 出版社：978-4-7619-2400-3, 備考：
参考書・Web サイト	中学校学習指導要領（最新版）、高等学校学習指導要領（最新版） 生徒指導提要
単位修得が望ましい科目	なし
備考	なし
担当教員の実務経験	1985年から京都市、北海道で31年間、公立小中学校教員の勤務経験がある。教員時代には、常に生徒指導理論や法令に即し、効果的な実践となるよう考え、経験を積んできた。教員経験に基づき、生徒指導の各講義における法令や理論的な内容が教育現場においてどのように結びついているかを学生に考えさせていくことに努める。

進路指導 Career Guidance

担当教員	椿 達(854 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP289
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2・3 年	後期	
先端経営学科		必修	2・3 年	後期	
情報メディア学科		必修	2・3 年	後期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2・3 年	後期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2・3 年	後期	
授業概要					
<p>テーマ：進路指導とキャリア教育の理念と意義を学び、その教育実践について考察する。</p> <p>本授業では進路指導・キャリア教育について、歴史的政策的な経緯を踏まえ、基本的な事項を解説し、学校教育のなかで進路指導・キャリア教育がどのような役割を担い、どのような意義を持つ教育活動であるのか、さらにこれからどのような教育実践が求められていくのかについて学ぶ。授業の方法は、講義・演習・発表等、履修者の参加を重視した方法で行う。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>①進路指導・キャリア教育の意義や原理、政策的な経緯と現状について理解し、説明することができる。</p> <p>②進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方を理解し、説明することができる。</p> <p>③進路指導・キャリア教育の実践的課題は何であるか等の見通しをもち、将来の実践者としての教育への意欲を高めるとともに、指導の基盤をつくり、教育実践について自分の考えを述べることができる。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	教科書の「プロローグ」を読み、教科書の著書の執筆の意図などをまとめる。			2.0
	授業	講義ガイダンス 日本の職業指導・進路指導・キャリア教育の歴史（明治から終戦期まで）			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
2	事前学習	教科書の第1章（10～42 ページ）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	日本の職業指導・進路指導・キャリア教育の歴史（終戦期から現在まで） 教育現場でのキャリア教育の誤解について			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
3	事前学習	教科書の第1章（43～67 ページ）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	キャリア教育・進路指導の歩み			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
4	事前学習	教科書の第1章（68～86 ページ）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	職場体験について			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
5	事前学習	教科書の第2章（88～120）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0

	授業	キャリア教育推進の意義	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
6	事前学習	教科書の第2章(121~138)を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	学びの本質的な意義	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
7	事前学習	教科書の第2章(138~157ページ)を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	大学入学共通テストの方向性	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
8	事前学習	教科書の第3章(160~187ページ)を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	キャリア教育が育む「四領域・八能力」について	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
9	事前学習	教科書の第3章(188~243ページ)を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	新学習指導要領におけるキャリア教育の実践について	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
10	事前学習	教科書の第4章(246~261ページ)を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	教科を通じたキャリア教育の実践について	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
11	事前学習	教科書の第4章(262~273ページ)を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	「主体的・対話的で深い学び」とキャリア教育について	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
12	事前学習	教科書の第4章(274~295ページ)第7章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	キャリア教育の要について	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
13	事前学習	教科書の第4章(296~328ページ)を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	キャリア・パスポートとキャリアカウンセリングについて	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
14	事前学習	教科書の第4章(329~346ページ)を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	キャリア教育とPDCAサイクル	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
15	事前学習	教科においてキャリア教育を実践するとして、その学習指導案を作成する(ペア・ワーク)。	2.0
	授業	教科におけるキャリア教育の学習指導案のプレゼンテーション	

	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
成績評価の方法およびその基準			
次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 □定期試験 ■小テスト (10%) ■レポート (25%) ■演習課題 (35%) ■履修状況 (授業参加など) (30%)			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法			
期限までに提出し、採点や添削などのKR情報を入れて返却する。 課題のダウンロードやアップロードはPOLITE3を利用する場合もある。			
教科書	書名：キャリア教育フォー ビギナーズ 「お花畑系キャリア教育」は言われるほど多いか？, 著者名：藤田晃之, 出版社：実業之日本社, 備考：		
参考書・Web サイト	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省 (2011) 『中学校 キャリア教育の手引き』教育出版. ・文部科学省 (2012) 『高等学校 キャリア教育の手引き』教育出版. 		
単位修得が望ましい科目	なし		
備考	免許法に基づく中学校・高等学校の教員免許状取得に必要な「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」における「進路指導の理論及び方法」に対応する。		
担当教員の実務経験	1986年から2015年まで29年間、北海道立高校で教員(2011年から教頭)の経験が在り、高校現場の実態を踏まえた指導方法や技術の指導を通して、教師を目指す学生たちの教職の基盤づくりに資するような講義に努めている。		

学校教育相談 School Counseling

担当教員	五浦 哲也 (858 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP290
開講学科		種別		配当年次	開講時期
システム情報学科		必修		1・2 年	後期
先端経営学科		必修		1・2 年	後期
情報メディア学科		必修		1・2 年	後期
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修		1・2 年	後期
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修		1・2 年	後期
授業概要					
<p>テーマ：学校教育相談の基礎理論と体験演習</p> <p>現在、不登校、いじめ、非行等、学校は多くの教育問題を抱えている。その渦中にある児童生徒はもちろん教師や保護者も戸惑い悩んでいる。児童生徒が学校生活で成長する過程で遭遇する諸問題には生徒指導はもちろんだが、教育相談・カウンセリングの果たす役割は非常に重要である。本科目では教職を目指す皆さんが児童生徒の話のいつでも聴ける知識や技術の基礎知識を学び、体験演習を通して体得する。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>教職を目指す皆さんが、学校という視点から、教育相談・カウンセリングについて十分理解でき、教師として必要な学校教育相談の基礎理論を自覚的に身につける。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスを確認し、授業全体の内容を把握する。			2.0
	授業	講義についてのガイダンス 構成的グループエンカウンターによるふれあい体験を体験し、その効用をグループで確認する。			
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
2	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。			2.0
	授業	学校教育相談の意義と課題を理解し、グループで相互にその理解度を確認する。 セリング			
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
3	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。			2.0
	授業	幼児期・児童期の子どもの問題（気になる行動や不適応行動）を理解し、グループで相互にその理解度を確認する。			
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
4	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。			2.0
	授業	思春期（中学・高校）の子ども問題（気になる行動や不適応行動）を理解し、グループで相互にその理解度を確認する。			
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
5	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。			2.0
	授業	発達障害の理解と支援について理解し、グループで相互にその理解度を確認する。			
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
6	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。			2.0
	授業	主な精神疾患の理解と支援について理解し、グループで相互にその理解度を確認する。			

	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
7	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。	2.0
	授業	教育相談の理論を理解し、グループで相互にその理解度を確認する。	
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
8	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。	2.0
	授業	教育相談の技法の理論を理解し、グループで相互にその理解度を確認する。	
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
9	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。	2.0
	授業	教育相談の技法の体験演習を行い、その効用をグループで確認する。	
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
10	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。	2.0
	授業	学校で使えるアセスメントを理解し、グループで相互にその理解度を確認する。	
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
11	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。	2.0
	授業	保護者への理解と支援について理解し、グループで相互にその理解度を確認する。	
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
12	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。	2.0
	授業	校内及び関係機関との連携について理解し、グループで相互にその理解度を確認する。	
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
13	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。	2.0
	授業	スクールカウンセラーの活用を理解し、グループで相互にその理解度を確認する。	
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
14	事前学習	本時のテーマについて内容を確認し、教科書を読んで内容を把握する。	2.0
	授業	授業・学級経営に生かす教育相談について考え、グループで相互に学んだことを確認する。	
	事後学習	本時の学習内容を教科書で整理し、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
15	事前学習	今期の学習成果を教科書で確認し、整理して理解しておく。	2.0
	授業	予防的・開発的カウンセリングの必要性を理解し、今期の確認テストを実施する。	
	事後学習	今期、学んだ内容を整理し、教職課程での学びにつながるようにする。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

定期試験 (%) 確認テスト (50%) レポート (%)

演習課題 (50 %) その他 (%)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

講義終了時に、学生はPOLITE3の課題を行う。教員は、次回最初に、全体で共有する内容についてフィードバックする。POLITE3の回答に個別についてコメントする。

教科書	書名：教育相談の理論と方法、著者名：会沢信彦、出版社：北樹出版、備考：定価：1800円+税
	書名：ピアヘルパーハンドブック、著者名：日本教育カウンセラー協会、出版社：図書文化、備考：定価：1500円+税
参考書・Webサイト	日本教育カウンセラー協会編『ピアヘルパーワークブック』図書文化社
単位修得が望ましい科目	生徒指導、特別支援教育

備考	教科書の利用については、語彙の理解や重要な視点を中心に理解し、内容を把握してほしい。知識の蓄積にとどまらず実践的な技能習得に向けて自ら考え、判断、表現できるように努めて欲しい。
担当教員の実務経験	<p>五浦 哲也</p> <p>1985年から京都市、北海道で公立小中学校教員の31年間勤務経験がある。教員経験において、教員時代から個別の教育相談や予防開発的な教育相談に取り組んできた。教育相談に関する知識・技能を授業づくりや生徒指導、特別支援教育などすべての教育活動に活かしてきた。教員経験に基づき、教育現場においてどのように活かしていくことができるかを学生に考えるとともに実践力を身に付けていくよう努める。</p>

教育実習 I Practice Teaching 1

担当教員	椿 達(854 研究室), 五浦 哲也(858 研究室), 別所 正一(118 研究室), 後期からの新任専任教員()	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		1 単位	実習 (対面)	○	CTP391
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	4 年	前期・後期	
先端経営学科		必修	4 年	前期・後期	
情報メディア学科		必修	4 年	前期・後期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	4 年	前期・後期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	4 年	前期・後期	
授業概要					
<p>「教育実習」は、教師を志望する学生が、講義などを通して習得した理論や技能を学校教育の実際場面へ適用し、実践的な体験をする学習活動である。大学の講義では得られない教育を行う諸能力を身に付けるために、実践を通して集中的に取り組む学習になる。</p> <p>高等学校の教員免許の取得希望者は2週間以上、中学校の教員免許の取得希望者は3週間以上、教育実習を行なうことになる。「教育実習 I」では、そのための事前指導（事前学習）と事後指導（事後学習）を行う。</p> <p>教育実習のねらいは以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教師という専門職とは何かについて、体験する。 2. 大学で学んだ知識・技能を実践上で生かす。 3. 大学では得られない実践的な教育技術を身に付ける。 4. 生徒とのふれあいを通して、教育の本質を実感する。 5. 教職に関する学習の総まとめとして、研究活動をする。 <p>「教育実習 I」事前指導（事前学習）では、所期のねらいを達成するように準備、訓練を行うための学習となる。「教育実習 I」事後指導（事後学習）では、「教育実習 II/教育実習 III」の終了後に、そこでの学習のまとめ及び教育についての見つめなおしを行い、その報告を行う。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>事前指導：教育実習並びに学校教育活動に関する基礎的・基本的事項について理解を深め、教育実習に向けての心構え、課題意識を養う。模擬授業などの実習を行う。</p> <p>事後指導：教育実習を振り返り、教育実践を通して学んだ教育活動についてその工夫・改善、向上のあり方に気付かせ、さらに、教育実践に対する自覚と意欲を強化する。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。			2.0
	授業	1 教育実習の意義 2 教員に求められる資質 3 教育実習に臨むにあたっての心構え・マナー			
	事後学習	教育実習の概要をまとめ、理解を深める。			2.0
2	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。			2.0
	授業	4 教育実習の内容（1） 授業実習			
	事後学習	教育実習の内容をまとめ、理解を深める。			2.0
3	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。			2.0
	授業	5 教育実習の内容（2） 特別活動等の指導			
	事後学習	教育実習の内容をまとめ、理解を深める。			2.0

4	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。	2.0
	授業	6 教育実習生の一日	
	事後学習	教育実習の1日の概要を理解し、理解を深める。	2.0
5	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。	2.0
	授業	7 事前準備 8 教育実習を終えるにあたって グループワーク	
	事後学習	教育実習の準備を整理し、今後に備える。	2.0
6	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。	2.0
	授業	模擬授業(1) 模擬授業を体験し、本時の授業の運営を試みる。その後、生徒役の学生と相互に協議する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	授業者、参加者双方とも、本時の体験を振り返り、本番の実習に備える。	2.0
7	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。	2.0
	授業	模擬授業(2) 模擬授業を体験し、本時の授業の運営を試みる。その後、生徒役の学生と相互に協議する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	授業者、参加者双方とも、本時の体験を振り返り、本番の実習に備える。	2.0
8	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。	2.0
	授業	模擬授業(3) 模擬授業を体験し、本時の授業の運営を試みる。その後、生徒役の学生と相互に協議する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	授業者、参加者双方とも、本時の体験を振り返り、本番の実習に備える。	2.0
9	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。	2.0
	授業	模擬授業(4) 模擬授業を体験し、本時の授業の運営を試みる。その後、生徒役の学生と相互に協議する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	授業者、参加者双方とも、本時の体験を振り返り、本番の実習に備える。	2.0
10	事前学習	4年生の実習報告会に参加し、質疑をして、教育実習の理解を深める。	2.0
	授業	模擬授業(5) 模擬授業を体験し、本時の授業の運営を試みる。その後、生徒役の学生と相互に協議する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	授業者、参加者双方とも、本時の体験を振り返り、本番の実習に備える。	2.0
11	事前学習	教育実習の成果をまとめ、発表資料を作成する。	2.0
	授業	実習報告会(1) 教育実習の体験をまとめ、3年生や教員の前で発表し、質疑応答する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	質疑応答や教員のコメントを参考にして、あらためて、教育実習の反省をする。	2.0
12	事前学習	教育実習の成果をまとめ、発表資料を作成する。	2.0
	授業	実習報告会(2) 教育実習の体験をまとめ、3年生や教員の前で発表し、質疑応答する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	質疑応答や教員のコメントを参考にして、あらためて、教育実習の反省をする。	2.0
13	事前学習	教育実習の成果をまとめ、発表資料を作成する。	2.0
	授業	実習報告会(3) 教育実習の体験をまとめ、3年生や教員の前で発表し、質疑応答する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	質疑応答や教員のコメントを参考にして、あらためて、教育実習の反省をする。	2.0
14	事前学習	教育実習の成果をまとめ、発表資料を作成する。	2.0

	授業	実習報告会(4) 教育実習の体験をまとめ、3年生や教員の前で発表し、質疑応答する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	質疑応答や教員のコメントを参考にして、あらためて、教育実習の反省をする。	2.0
15	事前学習	教育実習の成果をまとめ、発表資料を作成する。	2.0
	授業	実習報告会(5) 教育実習の体験をまとめ、3年生や教員の前で発表し、質疑応答する。プレゼンテーション、グループワーク	
	事後学習	質疑応答や教員のコメントを参考にして、あらためて、教育実習の反省をする。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

□試験： % □小テスト： % ■レポート：80% □演習課題： %

■その他：20% [教育実習報告会での報告]

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

模擬授業における指導案や授業運営について個別指導を行う。

教科書

参考書・Web サイト

「教育実習 64 の質問」寺崎、黒澤、別府監修 学文社

単位修得が望ましい科目

関連科目：教育実習 II/教育実習 III に連動している。

備考

その他：事後指導は後期に行う場合がある。

担当教員の実務経験

椿 達

1986年から2015年まで29年間、北海道立高校で数学の教員(2011年から教頭)の経験が在り、教師を目指す学生たちの教職の土台となるような実践的な授業づくりに努めている。

五浦哲也

1985年から31年間、京都市及び北海道の公立小中学校で教員経験がある。教務部や研修部及び教育実習生の担当経験を活かし、教育実習を通して学生が主体的かつ深い学びができるよう実践に即した授業づくりに努めている。

別所正一

1980年から2018年まで38年間、北海道立高校で商業の教員(教頭職6年、校長職9年)の経験が在り、教師を目指す学生たちの教職の土台となるような実践的な授業づくりに努めている。

教育実習Ⅱ Practice Teaching 2

担当教員	椿 達(854 研究室), 五浦 哲也(858 研究室), 別所 正一(118 研究室), 後期からの新任専任教員()	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	実習(対面)	○	CTP392
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	4 年	集中	
先端経営学科		必修	4 年	集中	
情報メディア学科		必修	4 年	集中	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	4 年	集中	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	4 年	集中	
授業概要					
<p>「教育実習Ⅱ」は、平素の専門分野の学習・研究活動及び高等学校の教科「情報」「商業」「数学」の学習を基に、実際に実習校において実践的な教育活動を体験します。「教育実習Ⅰ」と密接に関連した学習である。</p> <p>教育実習のねらいは次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教師という専門職とは何か、体験的に体得する。 2. 大学で得た知識・技能を実践上で生かす。 3. 大学で得られない実践的な教育技術を身につける。 4. 生徒とのふれあいを通して、教育の本質を実感する。 5. 教職に関する学習の総まとめとして、研究活動をする。 <p>実習期間は、高校の教員免許の取得希望者の場合、2週間以上、中学校の教員免許の取得希望者の場合、3週間以上だが、事前の学校訪問等があり、当該実習校との連携をとりながら準備をし、実習を行う。事前の学校訪問の状況について、大学に報告しなければならない。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>現実の学校環境における生徒たちとの直接的な接触を通して教育活動の体験を積み、将来教員となるための実践上の能力態度を養う。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスを確認し授業の全体の内容を把握する。			2.0
	授業	教育実習校での実習に関するオリエンテーションを受ける。			
	事後学習	オリエンテーションの内容をまとめ自覚する。			2.0
2	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。			2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。			
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。			2.0
3	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。			2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。			
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。			2.0
4	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。			2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。			
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。			2.0
5	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。			2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。			
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。			2.0

6	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
7	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
8	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
9	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
10	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
11	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
12	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
13	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
14	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
15	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容をレポートにまとめる。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

□試験： % □小テスト： % □レポート： % □演習課題： %

■その他 100% [(教育実習日誌, 実習高等学校からの出席簿・評価表、「教育実習I」と関連させ、総合的に評価する。)]

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

模擬授業における「ねらい」「発問」「板書」「ワークシート」「評価」の在り方について学生の考えを聞きながら質の向上にむけ個別に指導する。一度指導案を書いてきてもらい、指導案の書き方の視点を個別に指導する。

教科書

参考書・Web サイト

教育実習完璧ガイド 小学館,2015

単位修得が望ましい科目

教育実習I

備考	特になし
担当教員の実務経験	<p>椿 達 1986年から2015年まで29年間、北海道立高校で数学の教員（2011年から教頭）の経験が在り、教師を目指す学生たちの教職の土台となるような実践的な授業づくりに努めている。</p> <p>五浦哲也 1985年から31年間、京都市及び北海道の公立小中学校で教員経験がある。教務部や研修部及び教育実習生の担当経験を活かし、教育実習を通して学生が主体的かつ深い学びができるよう実践に即した授業づくりに努めている。</p> <p>別所正一 1980年から2018年まで38年間、北海道立高校で商業の教員（教頭職6年、校長職9年）の経験が在り、教師を目指す学生たちの教職の土台となるような実践的な授業づくりに努めている。</p>

教育実習Ⅲ Practice Teaching 3

担当教員	椿 達(854 研究室), 五浦 哲也(858 研究室), 別所 正一(118 研究室), 後期からの新任専任教員()	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	実習(対面)	○	CTP393
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		選択	4 年	集中	
先端経営学科		選択	4 年	集中	
情報メディア学科		選択	4 年	集中	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		選択	4 年	集中	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		選択	4 年	集中	
授業概要					
<p>「教育実習Ⅲ」は、平素の専門分野の学習・研究活動及び中学校の教科「数学」の学習を基に、実際に実習校において実践的な教育活動を体験する。「教育実習Ⅰ」と密接に関連した学習である。</p> <p>教育実習のねらいは次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教師という専門職とは何か、体験的に体得する。 2. 大学で得た知識・技能を実践上で生かす。 3. 大学で得られない実践的な教育技術を身につける。 4. 生徒とのふれあいを通して、教育の本質を実感する。 5. 教職に関する学習の総まとめとして、研究活動をする。 <p>実習期間は、中学校の教員免許の取得希望者の場合、3週間以上だが、事前の学校訪問等があり、当該実習校との連携をとりながら準備をし、実習を行う。</p> <p>事前の学校訪問の状況について、大学に報告しなければならない。</p>					
授業における学修の到達目標					
現実の学校環境における生徒たちとの直接的な接触を通して教育活動の体験を積み、将来教員となるための実践上の能力態度を養う。					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスを確認し授業の全体の内容を把握する。			2.0
	授業	教育実習校での実習に関するオリエンテーションを受ける。			
	事後学習	オリエンテーションの内容をまとめ自覚する。			2.0
2	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。			2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。			
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。			2.0
3	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。			2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。			
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。			2.0
4	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。			2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。			
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。			2.0
5	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。			2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。			
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。			2.0

6	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
7	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
8	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
9	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
10	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
11	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
12	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
13	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
14	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容を教育実習日誌にまとめる。	2.0
15	事前学習	教育実習校のスケジュールを確認し、準備をする。	2.0
	授業	教育実習校のスケジュールに従い現場実習を行う。	
	事後学習	実習内容をレポートにまとめる。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

□試験： % □小テスト： % □レポート： % □演習課題 ■その他：100% [教育実習日誌、実習高等学校からの出席簿・評価表。「教育実習Ⅰ」と関連させ、総合的に評価します。]

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

模擬授業における「ねらい」「発問」「板書」「ワークシート」「評価」の在り方について学生の考えを聞きながら質の向上にむけ個別に指導します。一度指導案を書いてきてもらい、指導案の書き方の視点を個別に指導する。

教科書

参考書・Web サイト 教育実習完璧ガイド 小学館,2015

単位修得が望ましい科目 教育実習Ⅰ

備考 特になし。

担当教員の実務経験	<p>椿 達 1986年から2015年まで29年間、北海道立高校で数学の教員（2011年から教頭）の経験が在り、教師を目指す学生たちの教職の土台となるような実践的な授業づくりに努めている。</p> <p>五浦哲也 1985年から31年間、京都市及び北海道の公立小中学校で教員経験がある。教務部や研修部及び教育実習生の担当経験を活かし、教育実習を通して学生が主体的かつ深い学びができるよう実践に即した授業づくりに努めている。</p> <p>別所正一 1980年から2018年まで38年間、北海道立高校で商業の教員（教頭職6年、校長職9年）の経験が在り、教師を目指す学生たちの教職の土台となるような実践的な授業づくりに努めている。</p>
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教職実践演習（中・高） Practical Seminar for the Teaching Profession

担当教員	椿 達(854 研究室), 五浦 哲也(858 研究室), 別所 正一(118 研究室), 後期からの新任専任教員()	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	実習(対面)	○	CTP394
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	4 年	後期	
先端経営学科		必修	4 年	後期	
情報メディア学科		必修	4 年	後期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	4 年	後期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	4 年	後期	
授業概要					
<p>本科目は、教職課程のいわば集大成とでもいうべき科目である。講義と模擬授業(授業研究を含む)、外部講師による教育現場の実態を知る講演会を通して、授業と学習指導の実践的指導力、教員の職務や責任、生徒理解・生徒指導とホームルーム(学級)経営などについての知識を整理し、今日の教育(社会)問題について考察し、討論し、大学における教師養成の最終段階としての力量の形成と各自のこれからの課題を明らかにしていく。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>教職課程の総まとめとして今までの学びを振り返り、教員として求められる資質・能力の基盤をつくとともに、社会人としての基礎的・汎用的な能力の育成を目標とする。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスを確認し授業の全体的内容を把握する。			2.0
	授業	ガイダンス・授業研究(検討会)の進め方とファシリテーターの役割について			
	事後学習	本時の学習内容を確認し、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
2	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。			2.0
	授業	教育課程と学習指導要領に関する講義とグループワーク			
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
3	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。			2.0
	授業	教育の方法と技術(授業)に関する講義とグループワーク			
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
4	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。			2.0
	授業	生徒理解と特別支援教育に関する講義とグループワーク			
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
5	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。			2.0
	授業	教員の職務と責任に関する講義とグループワーク			
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
6	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。			2.0
	授業	生徒理解と教育相談に関する講義とグループワーク			
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0
7	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。			2.0
	授業	予防・開発的な生徒指導に関する講義とグループワーク			
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。			2.0

8	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。	2.0
	授業	教員としての資質向上に関する講義とグループワーク	
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
9	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。	2.0
	授業	模擬授業の実施と授業研究 1 (テーマ: 授業の方略と方策) 問題基盤学習	
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
10	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。	2.0
	授業	模擬授業の実施と授業研究 2 (テーマ: 授業の目標と評価) 問題基盤学習	
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
11	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。	2.0
	授業	模擬授業の実施と授業研究 3 (テーマ: アクティブ・ラーニング) 問題基盤学習	
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
12	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。	2.0
	授業	模擬授業の実施と授業研究 4 (テーマ: 板書・発問・個別指導) 問題基盤学習	
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
13	事前学習	本時のテーマについて内容を確認する。	2.0
	授業	模擬授業の実施と授業研究 5 (テーマ: 「わかる」授業と「できる」授業) 問題基盤学習	
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
14	事前学習	今までの内容を総括し、講演を意欲的に聴けるようにする。	2.0
	授業	外部講師による講演(教育現場の実情と教師に求められる資質・能力)協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型学習	
	事後学習	本時の内容をまとめ、次回からスムーズに参加できるようにする。	2.0
15	事前学習	ポートフォリオを整理し、授業に備える。	2.0
	授業	講義のまとめ・ポートフォリオの完成と提出 デイスカッション グループワーク	
	事後学習	学んだ内容を整理し、まとめる。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

■レポート(教職実践演習ポートフォリオ) 20%

■その他 80%[討論への参加の状況, 模擬授業の実施状況]

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

模擬授業では、改善ポイントを簡潔にフィードバックする。

講義における討論では、学生相互の考えを認めつつ、さらに深めるための発問により思考・判断力の柔軟性を培う。

教科書

参考書・Web サイト

講義ごとに紹介する。

単位修得が望ましい科目

教育実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

備考

特になし

担当教員の実務経験

椿 達

1986年から2015年まで29年間、北海道立高校で数学の教員(2011年から教頭)の経験が在り、教師を目指す学生たちの教職の土台となるような実践的な授業づくりに努めている。

五浦哲也

	<p>1985年から31年間、京都市及び北海道の公立小中学校で教員経験がある。教務部や研修部及び教育実習生の担当経験を活かし、教育実習を通して学生が主体的かつ深い学びができるよう実践に即した授業づくりに努めている。</p> <p>別所正一</p> <p>1980年から2018年まで38年間、北海道立高校で商業の教員（教頭職6年、校長職9年）の経験が在り、教師を目指す学生たちの教職の土台となるような実践的な授業づくりに努めている。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

特別支援教育論 Study of Special Needs Education

担当教員	五浦 哲也 (858 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP195
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	1・2 年	前期	
先端経営学科		必修	1・2 年	前期	
情報メディア学科		必修	1・2 年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	1・2 年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	1・2 年	前期	
授業概要					
<p>インクルーシブ教育の実現に向け、特別支援教育に関する基礎的・基本的な知識を学修し、障害種ごとの発達・心理・認知における特性や生活・学習における困難を理解し、支援についての課題に主体的に考え、判断し、表現する取組を通して教育現場に生きる実践力を育成する。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>1. 特別支援教育(意義・教育課程・法律・制度・対象となる障害・支援の方法)について理解する。 2. 特別な教育的ニーズのある幼児・児童・生徒の発達面・心理面の特性や学習上・生活上の困難と対応に ついて理解する。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	シラバスに従い、教科書通読			2
	授業	特別支援教育の理念と制度（制度の理念、母国語や貧困の問題等の教育的ニーズ） グループディスカッション			
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ			2
2	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り			2
	授業	小・中学校における特別支援教育の仕組み（小・中学校における実態、支援体制、個別の教育支援計画及び指導計画） グループディスカッション			
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ			2
3	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り			2
	授業	特別支援学級や通級による指導の仕組みとその実際（特別支援学級と通級による指導の実際、障害種、教育課程） グループディスカッション			
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ			2
4	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り			2
	授業	特別支援学校における教育の仕組みとその実際（障害種、特別支援学校、センター的役割、教育課程） グループディスカッション			

	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
5	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	就学までの支援の仕組みとその実態（障害のある幼児期の心身。心理的特性、早期発見・早期支援、就学に向けての支援） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
6	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	注意欠陥多動性障害の理解と支援（定義、変遷、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
7	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	学習障害の理解と支援（医学的定義、教育的定義、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
8	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	自閉症の理解と支援（定義、変遷と診断基準、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
9	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	情緒障害の理解と支援（定義、選択性場面緘黙、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
10	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	言語障害の理解と支援（構音障害、吃音、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2

11	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	視覚障害の理解と支援（定義、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
12	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	聴覚障害の理解と支援（定義、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
13	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	肢体不自由の理解と支援（定義、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
14	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	病弱・身体虚弱の理解と支援（定義、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2
15	事前学習	シラバスに従い、教科書通読 前時の振り返り	2
	授業	知的障害の理解と支援（用語と定義、発達・心理・生活・学習の特性理解と支援、専門機関との連携） グループディスカッション	
	事後学習	配布資料による振り返り ノートによる講義内容のまとめ	2

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

■ 定期試験（70%） □ 小テスト（0%） □ レポート（0%）

■ 演習課題（30%）

□ その他 [なし]

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

理解度を確認するために学習ノートを提出させ、コメントを入れて返却します。

教科書	書名：インクルーシブ教育時代の教員をめざすための特別支援教育入門、著者名：大塚 玲、出版社：萌文書林、備考：2019年2月27日第2版第1刷発行
参考書・Web サイト	なし
単位修得が望ましい科目	なし

備考	なし
担当教員の実務経験	<p>1985年から京都市、北海道で公立小中学校教員の31年間勤務経験がある。教員経験において、特別支援学級、特別支援教育コーディネーター、市町の就学指導委員として8年間の経験がある。教員時代には、常に特別支援教育は、教育の原点と考え、授業づくりや生徒指導、教育相談などすべての教育活動に活かしてきた。教員経験に基づき、特別支援教育論の各講義における法令や理論的な内容が教育現場においてどのように活かしていくことができるかを学生に考えさせていくことに努める。</p>

教育方法論と総合的な学習の時間の指導法 Instructional Methodology and Teaching Methods of Period for

担当教員	椿 達 (854 研究室)	単位数	授業形態	アクティブ・ラーニング	ナンバリング
		2 単位	講義 (対面)	○	CTP291
開講学科		種別	配当年次	開講時期	
システム情報学科		必修	2 年	前期	
情報メディア学科		必修	2 年	前期	
情報メディア学科メディアデザイン専攻		必修	2 年	前期	
情報メディア学科メディアテクノロジー専攻		必修	2 年	前期	
授業概要					
<p>テーマ：教育方法学をしっかり学び、総合的な学習の時間の理念や変遷を学び、具体的な指導法を考える。</p> <p>これまでの教育方法・技術と授業に関する基本的な概念を整理し、教育方法と教授学の歴史、近代および現代の教授理論、授業における指導技術と評価、情報機器及び教材の活用など教育メディアの活用法などについての有意義な考え方や方法・スキルなどを学ぶ。その上で総合的な学習（探究）の時間の意義や創設から現在までの経緯と先進的な実践例、指導計画の作成や模擬授業の演習等を通して指導上の留意点や効果的な指導法について学び、教師としての教育（授業）実践の基盤づくりに資するものとする。講義においてプレゼンテーション（5 分間スピーチ）やグループワークによる討議を実施する。</p>					
授業における学修の到達目標					
<p>① 教育方法学、特に授業のとらえ方と授業技法について学び、説明することができる</p> <p>② 授業づくりの基本や授業計画や学習指導案の作成方法を学び、実際に学習指導案を作成することができる。</p> <p>③ 総合的な学習（探究）の時間の意義や教育課程において果たす役割を資質・能力の育成の視点から理解し、具体的な指導について自分の考えを述べるができる。</p> <p>④ 総合的な学習（探究）の時間の指導計画の作成の考え方や方法、評価の考え方について学び、模擬授業やその検討を通して探究的な学習の時間の指導の留意点を理解するとともに、効果的な指導法について考察し、授業実践の基盤をつくる。</p>					
授業計画					
回数	授業、事前・事後学習				時間
1	事前学習	教科書の第 1 章を読み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	ガイダンス 教育の技術（1）板書			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
2	事前学習	教科書の第 2 章 I II を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	教育方法学を学ぶ 教育の技術（2）発問			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
3	事前学習	教科書の第 2 章 III ~ V を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0
	授業	考える心理、学ぶ心理 教育の技術（3）個別指導・机間指導			
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。			2.0
4	事前学習	教科書の第 3 章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。			2.0

	授業	学習と授業（「わかる」と「できる」の意味）	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
5	事前学習	教科書の第4章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	授業のとらえ方と授業技法 教育の技術（4）授業における教師の役割	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
6	事前学習	教科書の第5章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	様々な授業様式 教育の技術（5）教科用図書の使い方	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
7	事前学習	教科書の第6章を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	学力観の変遷と学習力のとらえ方	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
8	事前学習	教科書の第7章Ⅰ～Ⅲを読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	授業づくりの基本と学習指導案 教育の技術（6-1）学習指導案を作成する：形式を学ぶ	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
9	事前学習	教科書の第7章ⅣⅤを読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	教育の現代化と教授理論（完全習得学習と「学び方」学習） 教育の技術（6-2）学習指導案を作成する：わかる・できる授業を目指して	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
10	事前学習	教科書の第7章Ⅵ～Ⅷを読み概要を掴み、疑問点などをまとめる。	2.0
	授業	メディアの活用と情報教育	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
11	事前学習	予習プリント（1）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる	2.0
	授業	総合的な学習の時間の意義	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
12	事前学習	予習プリント（2）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる	2.0
	授業	戦後の学習指導要領にみる総合的な学習	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
13	事前学習	予習プリント（3）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる	2.0
	授業	総合的な学習の時間の教育課程と校内体制	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0

14	事前学習	予習プリント（４）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる	2.0
	授業	総合的な学習の時間の指導計画・単元計画	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0
15	事前学習	予習プリント（５）を読み概要を掴み、疑問点などをまとめる	2.0
	授業	総合的な学習の時間の学習指導と評価	
	事後学習	講義において学んだ事項をノートに整理し、講義中に実施した演習内容を振り返るなど学びを深める。	2.0

成績評価の方法およびその基準

次項の項目及び割合で標準評価基準に基づき総合評価する。

□定期試験 ■小テスト（10%） ■レポート（25%） ■演習課題（35%） ■履修状況（授業参加など）（30%）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

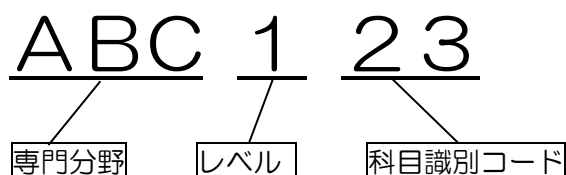
期限までに提出し、採点や添削などのKR情報を入れて返却する。

課題のダウンロードやアップロードはPOLITE3を利用する場合もある。

教科書	書名：三訂版 教育の方法と技術, 著者名：平沢 茂, 出版社：図書文化社, 備考：
参考書・Web サイト	文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）」 文部科学省「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）」 文部科学省「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編」
単位修得が望ましい科目	「教職概論」「教育原理」
備考	免許法に基づく中学校・高等学校の教員免許状取得に必要な「教科及び教職に関する科目」における「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に対応する。
担当教員の実務経験	1986年から2015年まで29年間、北海道立高校で教員（2011年から教頭）の経験が在り、高校現場の実態を踏まえた指導方法や技術の指導を通して、教師を目指す学生たちの教職の基盤づくりに資するような講義に努めている。

ナンバリングについて（共通教育）

○ナンバリング



○専門分野、学科等

共通教育・学科共通：C〇〇 以下の8分野

共通教育・基礎教育分野：CBA (Basic Subject)

共通教育・基礎教育言語分野：CBL (Basic Subject Language)

共通教育・教養教育〔情報とクリティカルシンキング〕分野：

CLI (Liberal Arts-Information & Critical Thinking)

共通教育・教養教育〔人間〕分野：CLH (Liberal Arts-Human)

共通教育・教養教育〔社会〕分野：CLS (Liberal Arts-Society)

共通教育・教養教育〔自然〕分野：CLN (Liberal Arts-Nature)

共通教育・教養教育〔総合〕分野：CLC (Liberal Arts-Comprehensive program)

学科共通・教職科目：CTP (Teaching Profession)

○レベル ※難易度（難易レベル）ではなく修学段階（修学レベル）とする。

1…基礎 2…発展 3…応用 ※共通教育は6段階の前半3段階を使用した。

○科目識別コード

連番 01～99